

工事特記仕様書（改修）

Table with 2 columns: Item Name, Details. Includes sections for I. Project Name (津市伊勢地多目的集会所改修工事), II. Project Summary, and III. Construction Work Details.

- 1 共通仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版（以下「改修標準仕様書」という。）」による。
2 特記仕様
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
(3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改修仕の該当項目等を示す。

Main specification table with columns: Chapter, Item, Special Notes. Contains detailed technical requirements for construction and renovation work.

Table with 2 columns: Item Number, Description. Lists various construction-related items such as 4 建設副産物情報, 5 三重県産業廃棄物税, 6 電気保安技術者, etc.

Table with 2 columns: Item Number, Description. Lists items related to temporary construction work, including 2 仮設工事, 3 既存部分の養生, 4 仮設間仕切り, etc.

Table with 2 columns: Drawing Name, Details. Includes '津市伊勢地多目的集会所改修工事' and '津市建設部営繕課'.

4 塗り仕上げ (4.2.2)(10) (表4.2.4(その1) (その2))	種類	呼び名	仕上げ形状	工法																																				
	薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状	吹付け こて																																				
			・ ゆず肌状 ・ さざ波状 ・ 着色骨材砂壁状	・ 吹付け ・ こて																																				
	厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し ・ 掻き落とし	吹付け こて																																				
			・ 外装厚塗材Si ・ 外装厚塗材E	・ こて ・ ローラー																																				
	複層仕上塗材	・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層塗材E ・ 防水形複層塗材RE	・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状	ローラー 吹付け																																				
			・ ()	・ ()																																				
	可とう形改修用 仕上塗材	・ 可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材RE ・ 可とう形改修塗材CE	・ 平たん状 ・ さざ波状 ・ ゆず肌状	ローラー 吹付け																																				
			・ ()	・ ()																																				
	(4.7.2) (表4.7.1) (表4.2.5)	・ 外装厚塗Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合 材所要量 (kg/m ²) ・ マスチック塗材塗り ・ A種 ・ B種 複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材の種類 <table border="1"> <tr> <th>樹脂種類</th> <th>溶媒種類</th> <th>外 観</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ アクリル系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ シリカ系</td> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ ポリウレタン系</td> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ アクリル シリコン系</td> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ ふっ素系</td> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 艶有 ・ 艶無</td> </tr> </table> (注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。				樹脂種類	溶媒種類	外 観	・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ シリカ系	・ 水系	・ 艶無	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ ポリウレタン系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ アクリル シリコン系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無	・ ふっ素系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無	・ 弱溶剤系
樹脂種類	溶媒種類	外 観																																						
・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																						
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																						
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																						
・ シリカ系	・ 水系	・ 艶無																																						
	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																						
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																						
・ ポリウレタン系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																						
	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																						
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																						
・ アクリル シリコン系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																						
	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック																																						
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																						
・ ふっ素系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無																																						
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無																																						
(表4.2.6)	外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法 <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">外壁用塗膜防水材</td> <td>・ 凹凸状</td> <td>・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 凸部処理</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ゆず肌状</td> <td>・ ローラー</td> </tr> <tr> <td>・ さざ波状</td> <td></td> </tr> </table>				種類	仕上げの形状	工法	外壁用塗膜防水材	・ 凹凸状	・ 吹付け	・ 凸部処理		・ ゆず肌状	・ ローラー	・ さざ波状																									
種類	仕上げの形状	工法																																						
外壁用塗膜防水材	・ 凹凸状	・ 吹付け																																						
	・ 凸部処理																																							
	・ ゆず肌状	・ ローラー																																						
	・ さざ波状																																							
(4.6.3)	既存塗膜等の除去及び下地処理 <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>処理範囲</th> </tr> <tr> <td>・ サンダー工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 高圧水洗工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 塗膜はく離工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 水洗い工法 (・ 高圧ポンプ (10~15MPa) ・ テッキブラシ)</td> <td></td> </tr> </table>				工 法	処理範囲	・ サンダー工法		・ 高圧水洗工法		・ 塗膜はく離工法		・ 水洗い工法 (・ 高圧ポンプ (10~15MPa) ・ テッキブラシ)																											
工 法	処理範囲																																							
・ サンダー工法																																								
・ 高圧水洗工法																																								
・ 塗膜はく離工法																																								
・ 水洗い工法 (・ 高圧ポンプ (10~15MPa) ・ テッキブラシ)																																								
(4.6.4)	下地調整 ・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()																																							
5 建具 改修 工事	1 改修工法 (5.1.3)	・ かぶせ工法 ・ カバー工法 ・ 持出し工法 ・ ノンシール工法 <input checked="" type="radio"/> 撤去工法 ・ はつり工法 ・ 引抜き工法																																						
	2 防戸 (5.1.4)	・ 例示仕様 ・ 個別認定 (認定番号:) <input checked="" type="radio"/> 自動閉鎖機構 ・ 図示 (図面番号:)																																						
	3 見本の製作 (5.1.5)	・ 製作する ・ 製作しない																																						
	4 防犯建物部品 (5.1.7)	・ 図示 (図面番号:)																																						
	5 プラインドボックス等 (5.1.6)(3)	・ 再使用する ・ 再使用しない																																						
	6 アルミニウム製 建具 (5.2.2) (5.2.4) (表5.2.1) (表5.2.2)	外部建具の性能等級等 ・ A種 <input checked="" type="radio"/> B種 ・ C種 ・ 枠の見込み寸法 ・ 70mm ・ () ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) (表5.2.1) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ 結露水の処理方法 ・ 図示 (図面番号:) アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種類 ・ 外部に面する建具 (過酷な環境の屋外) ・ BA-1 BA-2 ・ () ・ 外部に面する建具 (一般的な環境の屋外) ・ BB-1 BB-2 ・ () <input checked="" type="radio"/> 内部に面する建具 ・ BC-1 <input checked="" type="radio"/> BC-2 ・ ()																																						

7 網戸 (5.2.3)(5)	・ 可動式 ・ 固定式 防虫網の材質 ・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 網目 ・ 16メッシュ ・ 18メッシュ
8 樹脂製建具 (5.3.2)~(5.3.5) (表5.3.1)~ (表5.3.3)	外部に面する樹脂製建具の性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)) ガラス ・ 複層ガラス ・ ()) 建具枠見込寸法 ・ 図示 (図面番号:)) 水切り ・ 図示 (図面番号:)) ぜん板 ・ 図示 (図面番号:)) 丁番 ・ 改修標準仕様書 (表5.7.3)による ・ 図示 (図面番号:))
9 鋼製建具 (5.4.2)	鋼製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)) ・ 耐震ドアセット (等級))
(5.4.4)	・ H2400又はH950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書5.4.2による
10 鋼製軽量建具 (5.5.2) (5.5.5) (5.2.2)(2) (5.5.3) (5.5.4) (5.6.3)(1) (5.2.3)(1)	鋼製軽量建具の性能等級 <input checked="" type="radio"/> 簡易気密性ドアセット ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)) ・ 耐震ドアセット (等級)) ・ H2400又はH950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書5.5.1による 表面仕上げ ・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面) <input checked="" type="radio"/> (焼付塗装)
1.1 ステンレス製 建具 (5.6.2) (5.4.2)	ステンレス製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)) ・ 耐震ドアセット (等級)) 材料 ・ SUS304 ・ ()
(5.6.3)	表面仕上げ ・ HL仕上げ ・ ()
(5.6.4)	曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ
(5.6.5)	金物の見え掛り部等の材質等 <input checked="" type="radio"/> 改修標準仕様書 (表5.7.1)による ・ 図示 (図面番号:)
1.2 建具用金物 (5.7.2)	マスターキー ・ 製作する <input checked="" type="radio"/> 製作しない 引渡用鍵箱 ・ 必要 <input checked="" type="radio"/> 不要
1.3 自動ドア開閉 装置 (5.8.2)	駆動装置及び検出装置の性能値 (・ 多機能トイレ出入口用) ・ 図示 (図面番号:)
(5.8.3) (表5.8.4)	引き戸用検出装置の種類 ・ 図示 (図面番号:)
(5.8.3)(7)	凍結防止措置 ・ あり ・ なし
1.4 自閉式上り 引戸装置 (5.9.3)	自閉式上り引戸装置の性能値 ・ 改修標準仕様書 (表5.9.1)による ・ ()
1.5 重量シャッター ー (5.10.2)	種類 ・ 一般重量シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター 耐風圧強度 (Pa以上) 開閉機能 ・ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式
(5.10.2)(3) (表5.10.1)	一般重量シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない ・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ・ ()
(5.10.2)(6) (5.10.3)	開閉形式 ・ 上部電動式 (手動併用) ・ 手動式 耐風圧強度 (Pa以上)
(5.11.2) (表5.11.1) (5.11.3) (5.11.4)	スラットの材質及び形状 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形 ・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・ () JIS G 3322 ・ AZ90 ・ ()

6 内装 改修 工事	1.7 オーバーヘッド ドア (5.12.2)	型式及び機構 セクション材料 ・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ 耐風圧強度 (Pa以上) 開閉方式 ・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 収納形式 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形 ガイドレール ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板 <input checked="" type="radio"/> 図示 (図面番号: A-16)																							
	1.8 板ガラス (5.13.2)(1) (5.13.4)	<input checked="" type="radio"/> シーリング ・ ガスケット ()																							
	1.9 ガラス留め材 (5.13.2)(2)	<input checked="" type="radio"/> 図示 (図面番号:) <input checked="" type="radio"/> 改修標準仕様書 (表5.13.1) による																							
	2.0 ガラス溝の寸 法、形状等 (5.13.3)	ガラスブロック 表面形状、寸法、厚さ ・ 図示 (図面番号:) 金属枠、補強材 ・ 図示 (図面番号:) 化粧カバー ・ 図示 (図面番号:) 工法 ・ 図示 (図面番号:) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する。																							
	2.1 ガラスブロッ ク積み (5.13.5)																								
	6.1 一般事項 (6.1.3)(2)	既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲 <table border="1"> <tr> <th>改修部分</th> <th>改修範囲</th> </tr> <tr> <td>・ 天井</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> </tr> <tr> <td>・ 壁</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> </tr> <tr> <td>・ 床</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> </tr> </table>	改修部分	改修範囲	・ 天井	・ 図示 (図面番号:)	・ 壁	・ 図示 (図面番号:)	・ 床	・ 図示 (図面番号:)															
	改修部分	改修範囲																							
	・ 天井	・ 図示 (図面番号:)																							
	・ 壁	・ 図示 (図面番号:)																							
	・ 床	・ 図示 (図面番号:)																							
(6.1.3)(3)	天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 <input checked="" type="radio"/> 図示 (図面番号: A-12, 15) ・ ()																								
(6.1.3)(5)	天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 <input checked="" type="radio"/> 図示 (図面番号: A-12, 15) ・ ()																								
6.2 既存床撤去、下 地補修 (6.2.2)(1)(7)	既存床仕上げ材の除去等 浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 <input checked="" type="radio"/> 行う ・ 行わない																								
(6.2.2)(1)(4)	合成樹脂塗り床材の除去等 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法																								
(6.2.2)(3)	改修後の床の清掃範囲 <input checked="" type="radio"/> 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲 ・ ()																								
3 既存壁撤去、下 地補修 (6.3.2)	既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法 ・ ()																								
4 木下地等 (6.5.1)(3) (表6.5.1) (表6.5.2)	表面仕上げ 機械加工 ・ A種 ・ B種 ・ C種 手加工 ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種																								
(6.5.2)(1)(4) (表6.5.3)	木材の含水率 (工事現場搬入時、質量比) <table border="1"> <tr> <th>部材名称</th> <th>種 別</th> </tr> <tr> <td>下地材</td> <td>・ A種 <input checked="" type="radio"/> B種</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> </table>	部材名称	種 別	下地材	・ A種 <input checked="" type="radio"/> B種	造作材	・ A種 ・ B種																		
部材名称	種 別																								
下地材	・ A種 <input checked="" type="radio"/> B種																								
造作材	・ A種 ・ B種																								
(6.5.2)(2)(7)	製材 「製材の日本農林規格」による製材 <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>樹種・寸法・形状</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>材面の品質</th> </tr> <tr> <td>下地用 針葉樹製材</td> <td><input checked="" type="radio"/> 図示</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>造作用 針葉樹製材</td> <td>・ 図示</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>広葉樹製材</td> <td>・ 図示</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table>	部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	保存処理	材面の品質	下地用 針葉樹製材	<input checked="" type="radio"/> 図示	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	造作用 針葉樹製材	・ 図示	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	広葉樹製材	・ 図示	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()
部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	保存処理	材面の品質																				
下地用 針葉樹製材	<input checked="" type="radio"/> 図示	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()																				
造作用 針葉樹製材	・ 図示	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()																				
広葉樹製材	・ 図示	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()																				
(6.5.2)(2)(4) (6.5.2)(2)(5) (表6.5.4)	「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率 ・ 図示 (図面番号:) 造作材の材面の品質 ・ A種 ・ () 樹種 <table border="1"> <tr> <th>部 位</th> <th>樹 種</th> <th>県 産 材</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	部 位	樹 種	県 産 材																					
部 位	樹 種	県 産 材																							
(6.5.2)(3)(7)	造作用集成材 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>部 位</th> <th>品 名 ・ 樹 種</th> <th>見付け材面の寸法・品質・数</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td>造作用集成材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧ばり造作用 集成材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>化粧ばり構造用 造作用集成柱</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td></td> <td>・ ()</td> </tr> </table>	部 位	品 名 ・ 樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ	造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)		化粧ばり造作用 集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	化粧ばり構造用 造作用集成柱	・ 図示 (図面番号:)		・ ()								
部 位	品 名 ・ 樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ																						
造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)																							
化粧ばり造作用 集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	・ ()																						
化粧ばり構造用 造作用集成柱	・ 図示 (図面番号:)		・ ()																						

津市伊勢地多目的集会所便所改修工事		縮尺
図面名称	改修工事特記仕様書3	原図: A 2
津 市 建 設 部 営 繕 課		No. A-03

8 つや有合成樹脂 エマルジョンペ イント塗り (EP-0) (7.9.2)~(7.9.5) (表7.9.1)~ (表7.9.4)	種別	種別	
	下地	種別	
	コンクリート、モルタル、 プaster、せつこうボード、 その他ボード面	・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ()	
	木部(屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種	
	鉄鋼面(屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種	
重鉛めっき鋼面(屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種		
9 合成樹脂エマ ルジョンペイン ト塗り(EP) (7.10.2) (表7.10.1)	種別	種別	
	・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ()		
10 合成樹脂エマ ルジョン模様 塗料塗り (EP-T) (7.11.2) (表7.11.1)	種別	種別	
	・ A種 ・ B種 ・ C種		
11 ウレタン樹脂 ワニス塗り (UC) (7.12.2) (表7.12.1)	種別	種別	
	・ A種 ・ B種		
12 オイルステ イン塗り(OS) (7.13.2) (表7.13.1)	塗料	()	
13 木材保護塗料 塗り(WP) (7.14.2) (表7.14.1)	種別	種別	
	・ A種 ・ B種		
8 の 1 耐震改修工事 共通事項	(一般事項) 1 適用範囲 (8.1.1) (8.1.2)	工事内容 ・ 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 ・ 鉄骨ブレースの設置工事 ・ 柱補強工事(溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法) ・ 柱補強工事(鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法) ・ 柱補強工事(連続繊維補強工法) ・ 耐震スリット新設工事 ・ 免震改修・制振改修工事 工事種別 ・ 鉄筋工事 ・ あと施工アンカー工事 ・ コンクリート工事 ・ 鉄骨工事 ・ グラウト工事 ・ 連続繊維補強工事 ・ スリット新設工事 ・ 免震改修・制振改修工事 ・ 土工事及び地業工事	
	8 の 2 耐震改修工事 撤去工事	撤去の範囲 (8.21.2) (8.22.2) (8.23.2) (8.24.4)	撤去の範囲 (8.21.2) (8.22.2) (8.23.2) (8.24.4)
8 の 3 耐震改修工事 コンクリート工事	(既存部分の処理) 3 既存構造体コ ンクリート面の 目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	既存構造体コンクリート面の目荒らし程度 ・ 平均深さ2~5mmで最大深さ5~7mm程度の凹面を、打継ぎ面の15~30%程度の面積となるように施す。 ・ 図示(図面番号:)	

8 の 3 耐震改修工事 鉄筋工事	1 鉄筋 (8.2.1) (表8.2.1)	材料 改修標準仕様書(表8.2.1)による 種別 径(mm) ・ SD295A D10 ・ SD345 ・ SD390 ()
	2 溶接金網 (8.2.2)	網目の形状、寸法及び鉄線の径 網目の形状、寸法 鉄線の径(mm) 100 x 100 5.0
	3 加工 (8.3.2)	90°未満の折曲げの内法直径 図示(図面番号:)
	4 鉄筋の継手及び 定着 (8.3.4)	径 部位 重ね継手 D16以下 土間コンクリート ガス圧接 D19以上
	5 鉄筋のかぶり厚 さ及び間隔 (8.3.5) (表8.3.6)	主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ ・ 改修標準仕様書(8.3.4)(3)(7)による ・ 図示(図面番号:) 継手位置 ・ 各部配筋参考図による ・ 図示(図面番号:) 先組み工法等 ・ 柱・梁主筋の継手を同一箇所に設ける 鉄筋の定着長さ ・ 改修標準仕様書(表8.3.4)による ・ (表8.3.4)のフックありの定着長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法 図示(図面番号:) ・ 図示(図面番号:) 帯筋組立の形、継手及び定着 ・ 図示(図面番号:) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ () mm
	6 各部配筋 (8.3.8)	図示 圧接完了後の試験 超音波探傷試験 行う 行わない 割裂補強筋の適用 種類 材料 材種 径 本数・ピッチ 適用箇所 ・ スパイラル筋 鉄筋コンクリート用 R235 6φ スパイラルの径(mm) 図示(図面番号:) ・ () () 9φ スパイラルのピッチ(mm) () ・ はしご筋 鉄筋コンクリート用 295A 10 壁内方向筋 () () 壁面外方向筋 ()
	8 割裂補強筋 (8.21.6) (8.22.7)	機械式継手 種類 () 適用箇所 () 性能 () 鉄筋相互のあき () mm 施工完了後の継手部の試験 () 不合格となった継手部への措置等 () 溶接継手 種類 () 適用箇所 () 性能 () 鉄筋相互のあき () mm 施工完了後の溶接部の試験 () 不合格となった溶接部への措置等 ()
	8 の 4 耐震改修工事 コンクリート工事	コンクリートの種類 I類 II類 1 コンクリートの 種類及び強度 (8.1.3) (8.1.4) (8.9.1) (8.9.2) (表8.9.1)
2 構造体コンクリ ートの仕上り (8.1.4) (表8.1.4) (表8.1.5)	合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 コンクリートの仕上りの平たんさ ・ a種 ・ b種 ・ c種	
3 コンクリートの 材料 (8.2.5) (表8.2.3)	セメントの種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントA種 ・ シリカセメントA種 ・ フライアッシュセメントA種 ・ () ・ 高炉セメントB種及びフライアッシュセメントB種 適用箇所 ()	

4 混和材料 (8.2.5)	骨材 アルカリシリカ反応性による区分 ・ AL(コンクリート中のアルカリ総量を規制) ・ A(安全と認められる骨材を使用) なお、ALで規制できない場合は、Aとし、その試験は、施工手前、工事中1回/6ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会いのもと、試験を行う者が生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。 ・ 特殊な骨材の使用 ・ フェロニッケルスラグ細骨材 ・ 鋼スラグ細骨材 ・ 電気炉酸化スラグ骨材 ・ 再生骨材H(普通エコセメントを使用するコンクリートに限る)
	4 混和剤の種類 ・ 改修標準仕様書(8.2.5)(4)(a)による ・ 図示(図面番号:) ・ 混和材の種類 ・ 改修標準仕様書(8.2.5)(4)(b)による ・ 図示(図面番号:)
5 調合管理強度 (8.2.5) (8.8.3) (8.10.2)	構造体強度補正值(S) ・ 3N/mm ² ・ 6N/mm ² ()
6 養生 (8.7.7)	・ 普通エコセメント使用の場合の湿潤養生期間 ()
7 型枠 (8.2.7) (8.7.8)	材料 ・ 複合合板(厚さ 12mm ()) 普通合板 スリーブ ・ 材種 () 規格 () 型枠存置期間及び取外し ・ 普通エコセメント使用の場合の最小存置期間 ()
8 着中コンクリ ート (8.10.2)	構造体強度補正值(S) ・ 6N/mm ² ()
9 無筋コンクリ ート (8.11.1)	コンクリートの種類 ・ 普通コンクリート () 設計基準強度 ・ 18N/mm ² () スラップ ・ 15cm ・ 18cm ()
10 コンクリートの 打込み工法等 (8.21.8) (8.23.5)	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 ・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(7)及び(2) ・ () ・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(4)及び(3) ・ () ・ 工法指定なし ・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ () ・ 図示(図面番号:) ・ () 鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 ・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(7)及び(2) ・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ () ・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(4)及び(3) ・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ () ・ 工法指定なし ・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号:) ・ () ・ () ・ 図示(図面番号:) ・ ()
11 増設壁工事後の 仕上げ (8.21.10) (8.23.7)	柱頭柱脚の隙間部間の型枠 ・ 発泡プラスチック保温材等を埋込む () 柱頭柱脚の隙間寸法 ・ 図示(図面番号:) 打ち込みコンクリート又はグラウト材の厚さ ・ 図示(図面番号:) ・ 60mm () ・ 図示(図面番号:)

津市伊勢地多目的集会所便所改修工事		縮尺
図面名称	改修工事特記仕様書5	原図: A2
津市建設部営繕課		No. A-05

8の5 耐震改修工事 あと施工アンカー工事

(あと施工アンカー)

1 あと施工アンカーの材料 (8.2.4) (表8.2.2)

種類

- 金属系 セットの方式
 - 本体打込み式 (改良型 従来型)
 - 径及び埋込み長さ 図示 (図面番号:)
 - 引張耐力 図示 (図面番号:)
 - せん断耐力 図示 (図面番号:)
 - 接合筋の種類・長さ 図示 (図面番号:)
 - 接着系 アンカーの種類 カプセル型回転・打撃式 ()
 - 接着剤の品質 有機系 無機系
 - 径及び埋込み長さ 図示 (図面番号:)
 - 引張耐力 図示 (図面番号:)
 - せん断耐力 図示 (図面番号:)
 - アンカー筋の種類 図示 (図面番号:)
 - アンカー筋の新設壁内への定着長さ 図示 (図面番号:)
- あと施工アンカーの性能確認試験 行う 行わない

穿孔

埋込み配管等の探査の方法

- 鉄筋探知機(金属探知機)により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。
- はつり出しによる。
- ()

あと施工アンカーの施工確認試験 実施する 実施しない

試験方法 引張試験機による引張試験 ()

1ロットの単位 1日に施工されたもの径及び仕様ごと ()

試験の箇所数 1ロットに対し3本(無作為) ()

確認強度 ()

場所打ちコンクリート壁の増設工事

種類 金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー

- 接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー
- 径[mm] D10
- 長さ[mm] 増打壁厚-40 ()
- 彫込み深さ[mm] 5d(d: シアコネクタの径)以上 ()
- 間隔[mm] 500×500

シアコネクタとセパレーターの兼用 兼用してもよい 兼用しない ()

8の6 耐震改修工事 鉄骨工事

1 鉄骨製作工場 (8.1.5)

2 鉄骨製作工場における施工管理技術者 (8.1.6)

3 鋼材 (8.2.8)

4 高力ボルト (8.2.9) (8.14.2) (8.14.7)

ねじの呼び 図示 (図面番号:)

すべり試験 行う (試験方法等 図示: 図面番号)

JIS形・ナット回転法かつボルト長がねじの5倍を超える場合の回転量 ()

5 溶接材料 (8.2.10)

6 仮組 (8.13.10)

7 溶接作業を行う技能資格者 (8.15.3)

8 溶接の準備 (8.15.4)

9 溶接施工 (8.15.7)

鋼製エンドタブの切断 適用箇所 図示 (図面番号:)

切断面の仕上げ ()

鋼製エンドタブに代わる他の工法

鋼製エンドタブに代わるその他の工法については、代替エンドタブ(セラミックタブ又はフラックスタブ)を用いたものとし、工法の採用にあたっては、以下の項目の両方とも満足することを条件とし、監督員の承諾を受けること。

- 相当数の代替エンドタブによる溶接を行ったことがある工場での製作であること。
- 製作工場がJ、R、Mグレードの場合は、溶接技能者がNPO法人日本エンドタブ協会による図形タブに係るエンドタブ施工講習修了者(溶接技能者・A級以上)又はAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とする。また、製作工場がH、Sグレードの場合は、溶接技能者がAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とする。

板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部

- 低応力高サイクル疲労を受ける部位 図示 (図面番号:)
- スカラップの形状 図示 (図面番号:)

10 溶接部の試験 (8.15.12)

溶接部の外観試験 試験方法 () 確認方法 ()

完全溶込み溶接部の超音波探傷試験

工場溶接の場合

- 全数試験とする
- 公共建築工事標準仕様書(平成31年版)(7.6.12)(イ)による。
- 平均欠陥品質限界(AOQL) 4.0% 2.5% ()
- 検査水準 第6水準 ()
- ロットの構成 ()

工事現場溶接の場合

- 全数試験とする
- 公共建築工事標準仕様書(平成31年版)(7.6.12)(イ)による。
- 平均欠陥品質限界(AOQL) 4.0% ()

1 鉄骨の錆止め塗装 (8.17.2) (8.17.4)

2 耐火被覆材の種類及び性能 (8.18.2) (8.18.3)

3 プレース設置工事後の仕上げ (8.22.9)

4 スタッド (8.2.11)

鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る)

- 改修標準仕様書(7.3.2)(表7.3.1) () 種
- 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 図示 (図面番号:)
- 改修標準仕様書(7.3.2)(表7.3.1) () 種
- 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 図示 (図面番号:)

部位	種類	材料・工法	耐火性能

図示 (図面番号:)

スタッドの種類 ()

8の7 耐震改修工事 グラウト工事

(グラウト工事)

1 モルタル及びグラウト材 (8.2.6) (8.2.12) (表8.2.5) (表8.2.10)

2 既存構造体との取合部の処理方法 (8.21.9) (8.22.7)

構造体用モルタル

- 改修標準仕様書(8.2.6)及び(8.2.12)による。

無収縮モルタル

- 改修標準仕様書(8.2.12)(1)による
- ()

グラウト材

- 改修標準仕様書(8.2.12)(1)による。

増設の現場打ち鉄筋コンクリート壁と既存構造体との隙間の処置方法

部位	処理方法	備考
増設壁の上部	グラウト材を注入	寸法は図示による
()	()	()
()	()	()

8の8 耐震改修工事 柱補強工事

(連続繊維補強工事)

1 連続繊維シート等による工法 (8.24.1)

2 連続繊維シート及び含浸接着樹脂等の材料 (8.2.13)

3 連続繊維シートの施工準備

4 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8.23.6)

5 耐震補強後の仕上げ (8.23.7) (8.24.5)

6 炭素繊維シートでの施工

7 連続繊維補強材の強度試験 (8.24.6)

連続繊維による補強、補修工法

- (財)日本建築防災協会の評価を受けた工法とする。
- ()

連続繊維の材料

- ()

工法

- ()

引張強度(含浸硬化後)

- ()

ヤング係数(含浸硬化後)

- ()

仕上げモルタルの除去

- 既存構造体面まで除去する
- モルタル除去は行わない
- ()

既存モルタルの圧縮強度測定

- 行う ()
- 行わない

ひび割れ部の改修工法

- 樹脂注入工法
- Uカットシール材充填工法
- シール工法

柱頭柱脚の隙間寸法

- 図示 (図面番号:)

炭素繊維の目付量

- 図示 (図面番号:)
- 200g/m²
- 300g/m²
- ()

炭素繊維シートの巻き数

- 図示 (図面番号:)
- 1巻き
- 2巻き
- ()

引張強度試験

- 実施する (JIS A1191に準拠する)
- 試験数量 ()
- 実施しない

8の9 耐震補強工事 スリット新設工事 免震改修工事 制振改修工事

(耐震スリット新設工事)

1 スリットの種類 (8.25.1) (8.25.2)

2 スリットの施工 (8.26.1)~(8.27.9)

付着強度試験

- 実施する (JIS A6909に準拠する)
- 試験数量 ()
- 実施しない

耐震スリットの種類及び形状

完全スリットの形状

記号	一般型		
	一面せん断型	一面せん断型	
形状	図示 (図面番号:)	図示 (図面番号:)	
幅W (mm)	図示 (図面番号:)	図示 (図面番号:)	
高さH (mm)	()	()	
既存鉄筋の処理	既存鉄筋はつり出し ・切断してよい ()	切断してよい ()	

部分スリットの形状

記号	片側スリット		両側スリット	
	片側スリット	片側スリット	両側スリット	両側スリット
形状	図示 (図面番号:)	図示 (図面番号:)	図示 (図面番号:)	図示 (図面番号:)
幅W (mm)	図示 (図面番号:)	図示 (図面番号:)	図示 (図面番号:)	図示 (図面番号:)
目地部の残存厚さ	壁厚の1/2以下かつ70mm以下	()	壁厚の1/2以下かつ70mm以下	()
ts (mm)	()	()	()	()
既存鉄筋の処理	存置する ・既存鉄筋はつり出し ・切断してよい ()	存置する ・切断してよい ()	存置する ・切断してよい ()	存置する ・切断してよい ()

スリット部の配管等の調査

範囲

- スリット新設部に伴う鉄筋コンクリートの撤去範囲全て。
- 図示 (図面番号:)
- ()

方法

- 鉄筋探知機(金属探知器)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。

スリットの逃げ位置

- 壁上端部 梁との接合部 ()
- 壁の柱きわ部 柱の仕上げを逃がしたきわ部 ()
- 壁下端部 床仕上げ上部 床体上部 ()

撤去部の補修

- 図示 (図面番号:)

充填材

- 耐火材 使用箇所 () 仕様 ()
- 遮音材 使用箇所 () 仕様 ()

免震改修、制振改修に関する仕様は、図示する。

9 環境配慮改修工事

1 石綿含有建材の除去工事 (9.1.1)

地盤の載荷試験
試験方法 ・ 平板載荷 ・ ()
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置 ・ 図示(図面番号:) 載荷荷重 (kN)
報告書 ・ 提出部数 2部

杭地業の工法、寸法
・ 図示(図面番号:)

杭頭処置
・ 行う ・ 行わない

砂利及び砂地業
範囲 ・ 図示(図面番号:) 厚さ(mm) ・ 60 ・ ()

捨てコンクリート地業
範囲 ・ 図示(図面番号:) 厚さ(mm) ・ 50 ・ ()

施工調査
・ 石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、石綿含有建材の使用について、目視、設計図書及び貸与資料等により書面調査及び現地調査し、監督職員に報告する。
調査範囲 ・ 図示(図面番号:) ・ ()
貸与資料 ()

・ 分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
分析方法
・ JIS A 1481-1(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性の判定方法)による
・ JIS A 1481-2(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法)による
・ JIS A 1481-3(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部:アスベスト含有率の×線回折定量分析方法)による
・ JIS A 1481-4(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第4部:質量法及び顕微鏡法によるアスベストの定量分析方法)による

材料名	定性分析	定量分析
	・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()
	・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()
	・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()
	・ 箇所数 ()	・ 箇所数 ()

サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所 ・ 図示(図面番号:) ・ ()

・ 石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

通用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)
・	測定1	処理作業中	処理作業室内	計点
・	測定2		調査対象室外部の付近	計点
・	測定3		処理作業室内	計点
・	測定4		負圧・除じん装置の排気吹出し口	出口吹出し風速1m/s以下の位置
・	測定5	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室外(敷地境界)	計点
・	測定6		処理作業室内	計点
・	測定7	処理作業後シート除去後、週間以降	処理作業室内	計点
・	測定8		調査対象室外部の付近	計点

測定方法

	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8	測定 5
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47
試料の吸引流量(L/min)	・ 1 ・ ()	・ 5 ・ ()	・ 10 ・ ()
試料の吸引時間(min)	・ 5 ・ ()	・ 120 ・ ()	・ 240 ・ ()

(9.1.3) 石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲 ・ 図示(図面番号:)
除去工法 ・ 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による ・ ()
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止
・ 湿潤化 ・ 固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融又は無害化による)

(9.1.4) 石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲 ・ 図示(図面番号:)
除去方法 ・ 改修標準仕様書9.1.4(1)による ・ ()
除去した石綿含有保温材等の処分
・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融又は無害化による)

(9.1.5) 石綿含有成形板の除去
除去対象範囲 ・ 図示(図面番号:)
石綿含有せっこうボードの処分
・ 埋立処分(管理型最終処分場)
石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板の処分
・ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理(溶融又は無害化による)

石綿含有仕上塗材の除去
除去対象範囲 ・ 図示(図面番号:)
除去した石綿含有仕上塗材等の処分
・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融又は無害化による)

※「石綿含有仕上塗材の除去等作業における石綿飛散防止対策について」(平成29年5月30日付け環水大発第1705301号)及び「建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」(平成28年4月28日 国立研究開発法人 建築研究所)に基づき適切に処理すること。

2 断熱アスファルト防水改修工事 (9.2.1)~(9.2.3)

3 外断熱改修工事 (9.3.2)

改修特記仕様書3章による

種類	厚さ[mm]
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキンなし)	
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	
・ フェノールフォーム断熱材	
・ ロックウール断熱材	
・ グラスウール断熱材	
・ ()	

施工箇所 ・ 図示(図面番号:) ・ ()

外装材

種類	防火性能	備考
・		

(9.3.3) 既存外壁の措置
既存外壁仕上げ材の撤去 ・ あり ・ なし
下地の清掃 ・ 行う ・ 行わない
欠損部の改修工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 ・ ()

(9.3.4) 工法
通気層の有無 ・ あり(mm) ・ なし
断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による ・ ()
外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による ・ ()
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・ 適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3)倍の風圧力に対応した工法)
・ 適用しない
不陸等の下地調整 ・ 行う

4 断熱・防露改修工事 (9.5.2)

断熱材打込み工法

種類	厚さ[mm]
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキンなし)	
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	
・ フェノールフォーム断熱材	
・ ()	

施工箇所 ・ 図示(図面番号:) ・ ()

(9.5.3) 断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H ・ ()
厚さ(mm) ・ 25 ・ 30 ・ ()
施工箇所 ・ 図示(図面番号:)

現場発泡断熱材(品質・性能)
工事建築材料等品質性能表による(試験方法)
工事建築材料等品質性能表による

(9.5.4) 断熱材後張り工法

種類	せっこうボード等の張り付け	厚さ[mm]
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有 ・ 無	
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有 ・ 無	
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 有 ・ 無	
・ フェノールフォーム断熱材	・ 有 ・ 無	
・ ()	・ 有 ・ 無	

施工箇所 ・ 図示(図面番号:) ・ ()

5 屋上緑化改修工事 (9.6.1) (9.6.2) (9.6.3)

補栽基盤及び材料
屋上緑化軽量システム
・ 適用する ・ 適用しない
及び地被類の樹種並びに種類等 ・ 図示(図面番号:) ・ ()
見切り材、種袋材、排水孔、マルチング材等 ・ 図示(図面番号:) ・ ()

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・ 適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
・ 適用しない

かん水装置 ・ 設置する(種類 ・)
既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない

6 透水性アスファルト舗装改修工事 (9.7.2)~(9.7.7) (9.7.9)

既存舗装の撤去及び再利用 ・ 図示(図面番号:) ・ ()

路床

種別	材料	厚さ[mm]
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示(図面番号:) ・ ()
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂(7μmふるい通過量10%以下) ・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()
・ フォルター層	・ 砂 ・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()

路床安定処理
・ 添加材料による安定処理
種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種
・ 生石灰(・特号 ・ 1号) ・ 消石灰(・特号 ・ 1号)
添加量(kg/m2) (目標CBR ・ 5以上)

・ ジオテキスタイル
単位面積質量 ・ 60g/m2以上 ・ ()
厚さ[mm] ・ 0.5~1.0 ・ ()
引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm)以上 ・ ()
透水係数 ・ 1.5×10⁻¹cm/sec以上 ・ ()

試験
路床土の支持力比(CBR)試験 ・ 行う ・ 行わない
路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない
現場CB試験 ・ 行う ・ 行わない

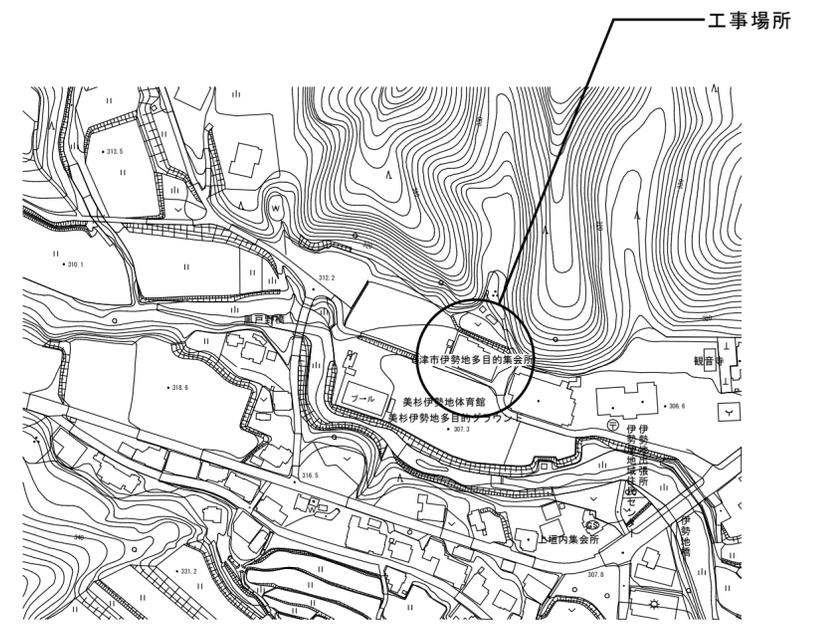
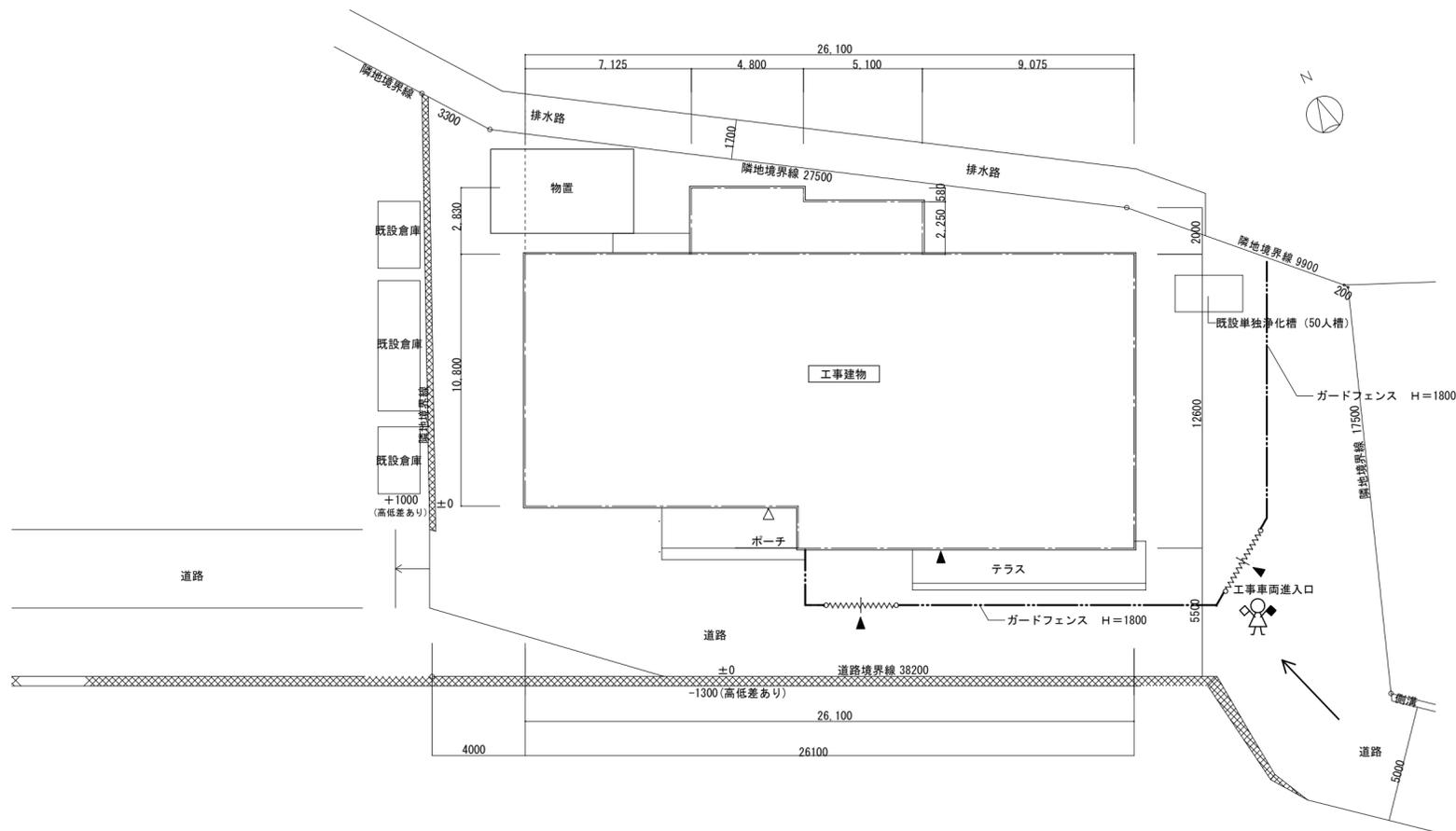
路盤
路盤の構成及び厚さ ・ 図示(図面番号:) ・ ()
路盤材料 ・ 再生材のクラッシュラン
・ クラッシュラン鉄鋼スラグ
・ 図示(図面番号:)
・ ()

試験
路盤締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない

舗装

材料	厚さ[mm]
・ ストレートアスファルト	・ 図示(図面番号:)
・ 改質アスファルト(・I型 ・ II型 ・ ()型)	・ ()

試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない
舗装の平たん性 ・ 著しい不陸がないもの ・ ()



附近見取り図

配置図兼仮設計画図 1/200

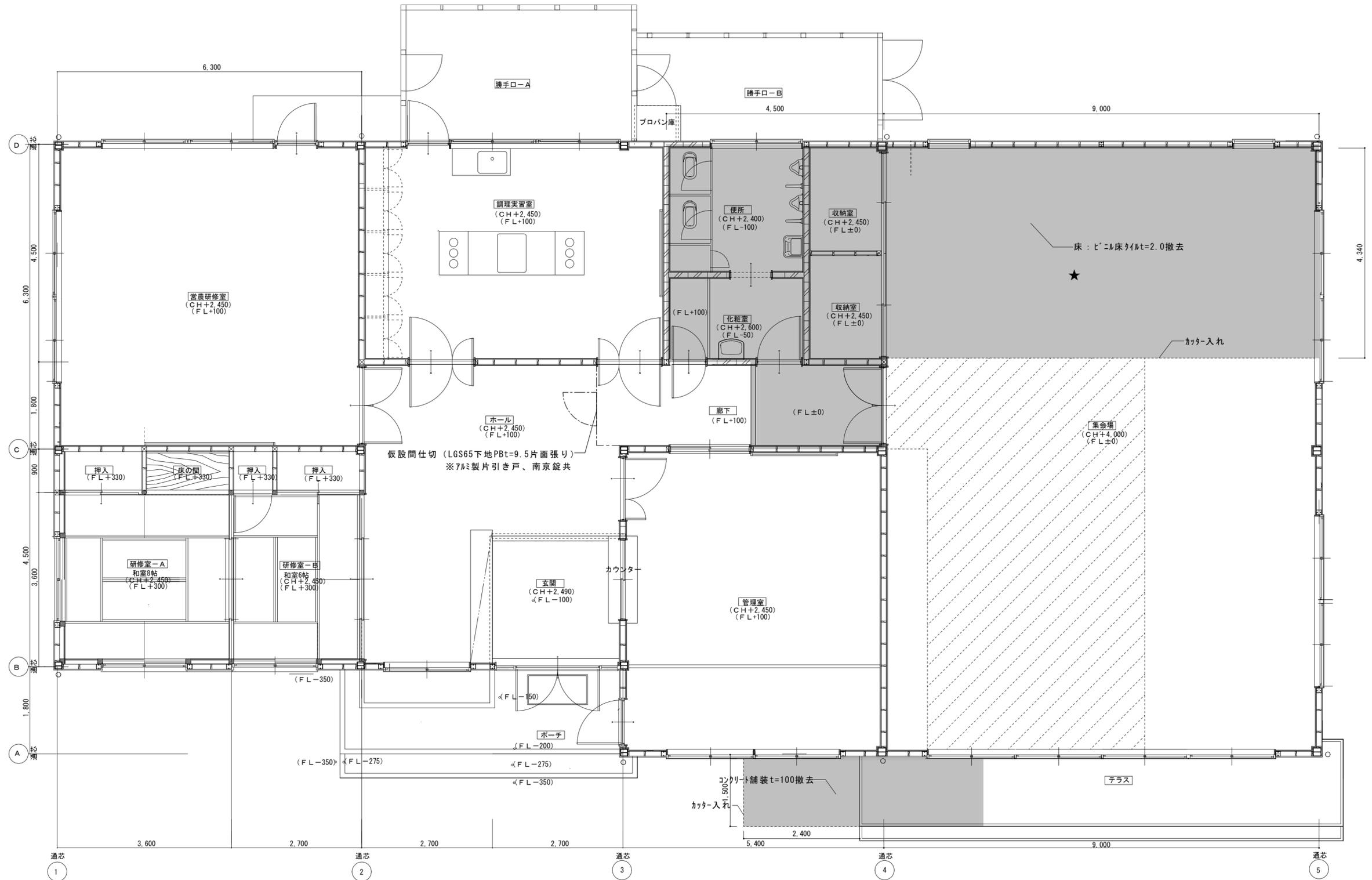
- 凡例
- : キャスターゲート W4000 x H2000
 - |— : ガードフェンス H = 1800
 - ▲ : 工事関係者進入口
 - △ : 施設利用者進入口
 - ⦿ : 交通誘導員 (大型車両進入時)
 - ← : 工事車両進入経路

津市伊勢地多目的集会所便所改修工事		縮尺 1/200
図面名称	附近見取り図・配置図兼仮設計画図	原図 : A2
津市建設部営繕課		No. A-08

建 物 概 要	工事名称	津市伊勢地多目的集会所便所改修工事		外 部 仕 上 表	改 修 前	テラス	(一部撤去) コンクリート舗装t=100		改 修 後	スロープ	(新設) モルタル下地/スリップ タイル張り100角新設 (新設) SUS製手摺38φ	
	建築場所	地名地番： 津市 美杉町石名原 地内										
	建 物	鉄骨造平家建	延面積： 307.8 m ²									
内 部 仕 上 表	室 名	区 分	床	巾 木	H	壁・腰	天 井	CH	廻り縁	備考		
	化粧室	改修前	(撤去)フロリング張り(モザイクタイル) t=15(床組共) (撤去)モザイクタイル張り (撤去)土間コンクリートt=100(砕石共)			(一部撤去) モルタル下地75角タイル貼り、モルタル下地EP塗り(上部) (一部撤去) CBt=100、モルタル下地75角タイル貼り、モルタル下地EP塗り(上部)	(撤去)化粧PBt=9(LGS下地)	2600	(撤去)塩ビ製			
	多目的便所	改修後	(新設)打ち増しコンクリートt=100モルタル金コシ押えビニル床シートt=2.5 (新設)土間コンクリートt=100(砕石共)	(新設)ソフト巾木	300	(一部新設)耐水石膏ボードt=12.5(GL工法)の上マリン不燃化粧板張りt=3.0 (一部新設)LGS100下地耐水石膏ボードt=12.5の上マリン不燃化粧板張りt=3.0 (一部新設)LGS65下地耐水石膏ボードt=12.5の上マリン不燃化粧板張りt=3.0	(新設)化粧PBt=9.5(LGS下地)	2400	(新設)塩ビ製	(新設)軽量鋼製建具		
	便所	改修前	(撤去)モルタル下地モザイクタイル張り (撤去)土間コンクリートt=100(砕石共)			(一部撤去) モルタル下地75角タイル貼り、モルタル下地EP塗り(上部) (一部撤去) CBt=100、モルタル下地75角タイル貼り、モルタル下地EP塗り(上部)	(撤去)化粧PBt=9(LGS下地)	2400	(既設)塩ビ製			
	男子便所・女子便所	改修後	(新設)モルタル金コシ押えビニル床シートt=2.5 (新設)土間コンクリートt=100(砕石共)	(新設)ソフト巾木	100	(一部新設)耐水石膏ボードt=12.5(GL工法)の上マリン不燃化粧板張りt=3.0 (一部新設)LGS100下地耐水石膏ボードt=9.5の上マリン不燃化粧板張りt=3.0	(新設)化粧PBt=9.5(LGS下地)	2400	(新設)塩ビ製	(新設)トイレット		
	廊下・収納室	改修前	(撤去：収納庫)モルタル金コシ仕上 (撤去：廊下)モルタル下地モザイクタイル張り (一部撤去)土間コンクリートt=100(砕石共)	(一部撤去)木製SOP	100	(一部撤去)CBt=100、プリント合板t=4(木下地、GW共)	(撤去)ラワン合板t=9(LGS下地、木製見切共)	2450	(撤去)木製			
	廊下	改修後	(新設)モルタル金コシ押えビニル床シートt=2.5 (一部新設)土間コンクリートt=100(砕石共)	(新設)木製巾木SOP	100	(一部新設)LGS100下地石膏ボードt=12.5の上ビニルクロス張り (一部新設)石膏ボードt=12.5(GL工法)の上ビニルクロス張り	(新設)化粧PBt=9.5(LGS下地)	2400	(新設)塩ビ製	(新設)7mm芯材塩ビ樹脂手摺34φ (新設)7mm製建具 (新設)軽量鋼製建具		
	集会場	改修前	(撤去)ビニル床タイル張りt=2 (一部撤去)モルタル下地土間コンクリートt=100(砕石共)			(既設のまま)上段：有孔レキ材ボードt=4(EP、寒冷紗裏貼り・木下地、GW、見切り共) (既設のまま)下段：ビニルクロス張り(PBt=12下地・木下地、GW、見切り共)	(既設のまま)化粧PBt=9(CB共) (既設のまま)ビニルクロス貼り・PBt=9下地	4000 (3600)		(一部撤去)木製建具(枠共)		
		改修後	(新設)下地調整の上ビニル床シートt=2.0 (一部新設)土間コンクリートt=100(砕石共)	(新設)ソフト巾木	100	(一部新設)LGS100下地耐水石膏ボードt=12.5の上マリン不燃化粧板張りt=3.0		4000 (3600)		(新設)SUS製流し台 1200 x 750 2箇所 (新設)SUS製調理台 1800 x 750 (新設)SUS製バケツ棚 1200 x 350 2箇所		
	塗料仕様種別の略号表示 (建設省)		OP	油性調合ペイント塗り	VP	塩化ビニルエナメル塗り	CL	クリアラッカー塗り	(共通) 補強が必要な箇所は耐水ラワン合板t=12を下地張りとする。			
		SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	EP	合成樹脂エマルジョン塗り							
		OS	オイルステイン塗り									

津市伊勢地多目的集会所便所改修工事		縮尺
図面名称	仕上表	原図：A2
津市建設部営繕課		No. A-09

改修前

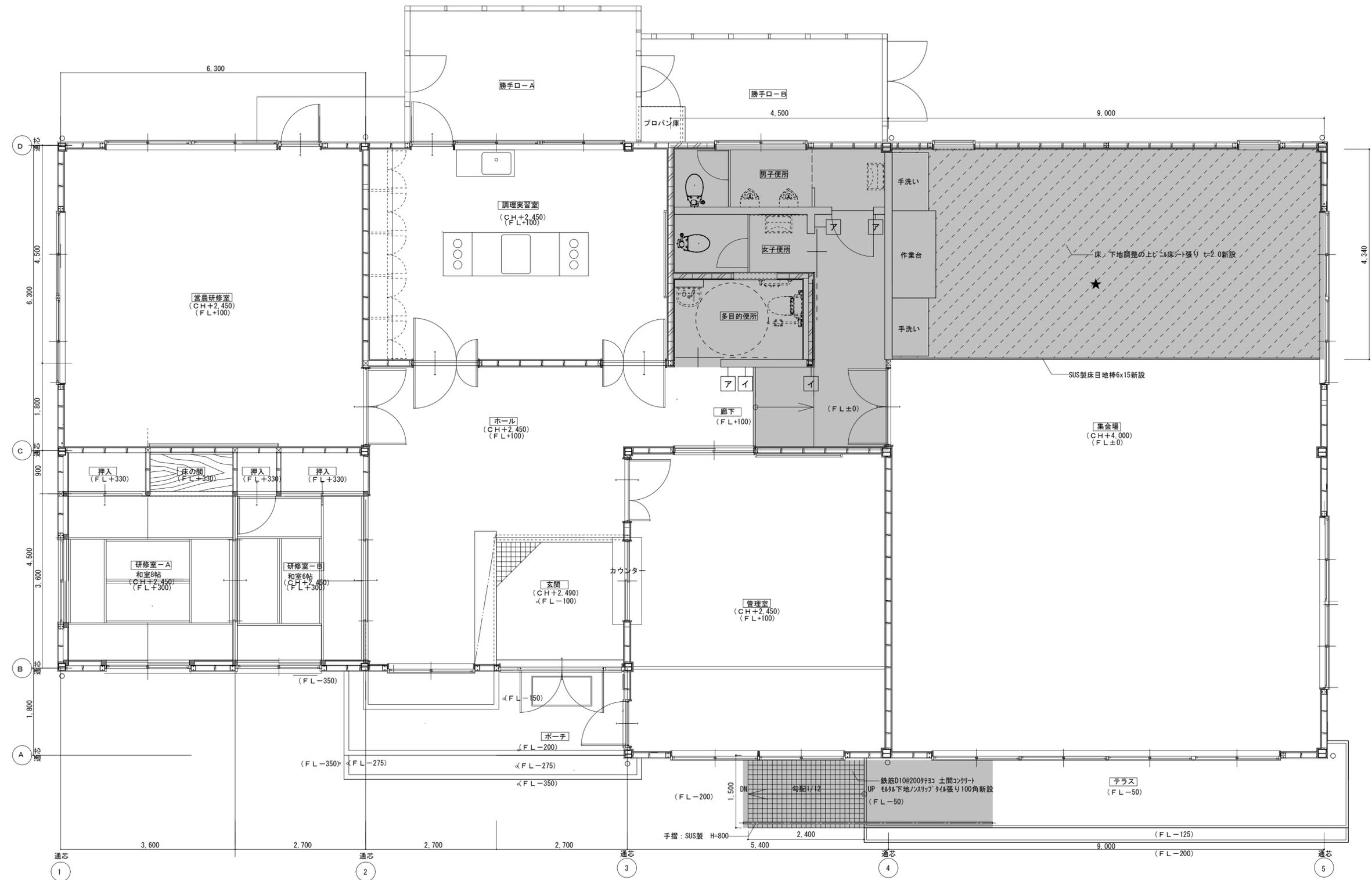


■ : 工事範囲を示す。
 ■ (斜線) : 床養生範囲を示す。
 (シ+ハ=7)

★ : 化学物質の濃度測定箇所
 (改修前)を示す。

津市伊勢地多目的集会所便所改修工事		縮尺 1/60
図面名称	平面図 (改修前)	原因 : A2
津市建設部営繕課		No A-10

改修後



室名札		
ア	平付室名札 アクリル t5 200x200	3箇所
イ	突出室名札 アクリル t5 200x200	2箇所

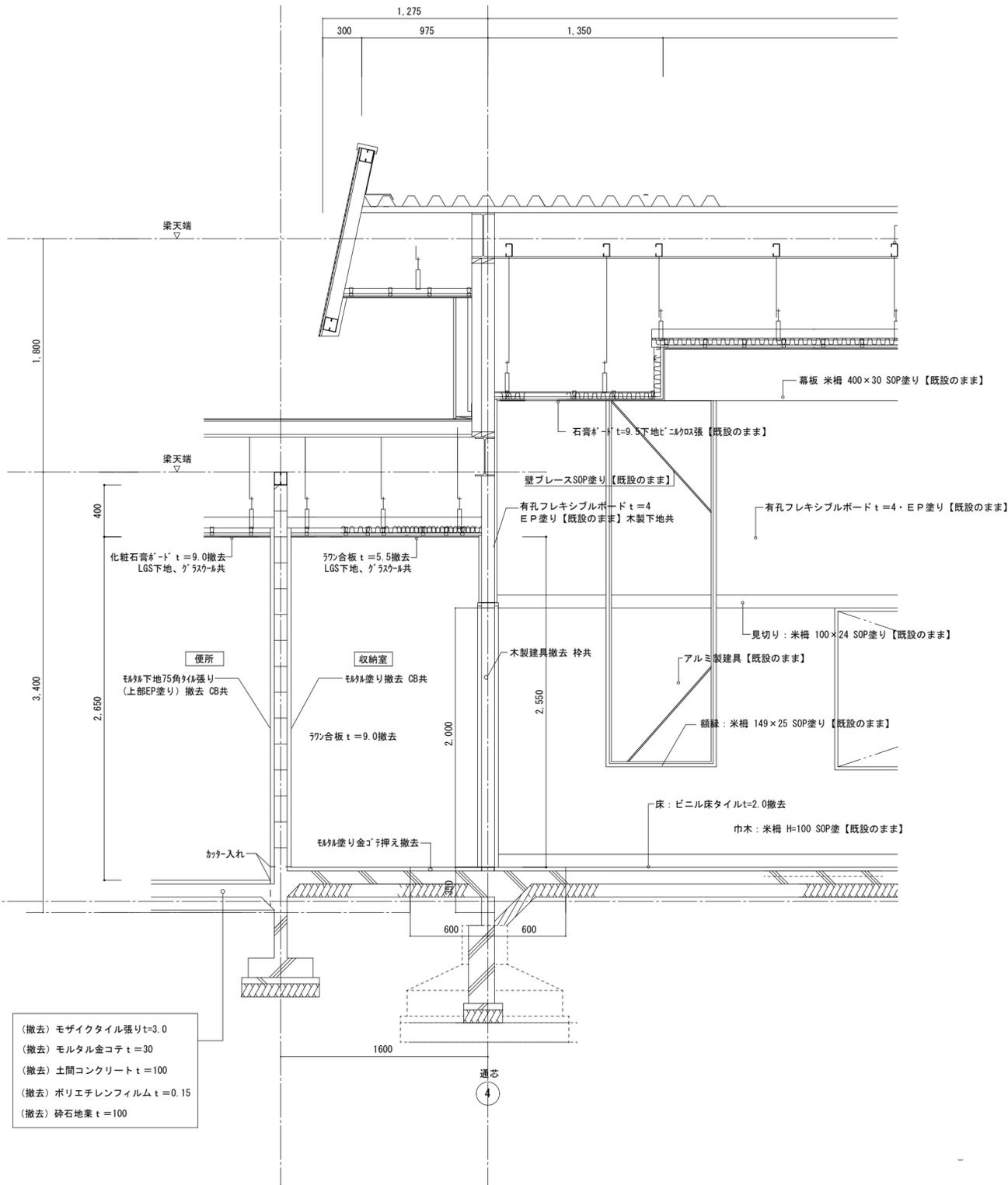
■ : 工事範囲を示す。

▨ : モルタル下地とニル床シート張り t=2.5 新設範囲を示す。

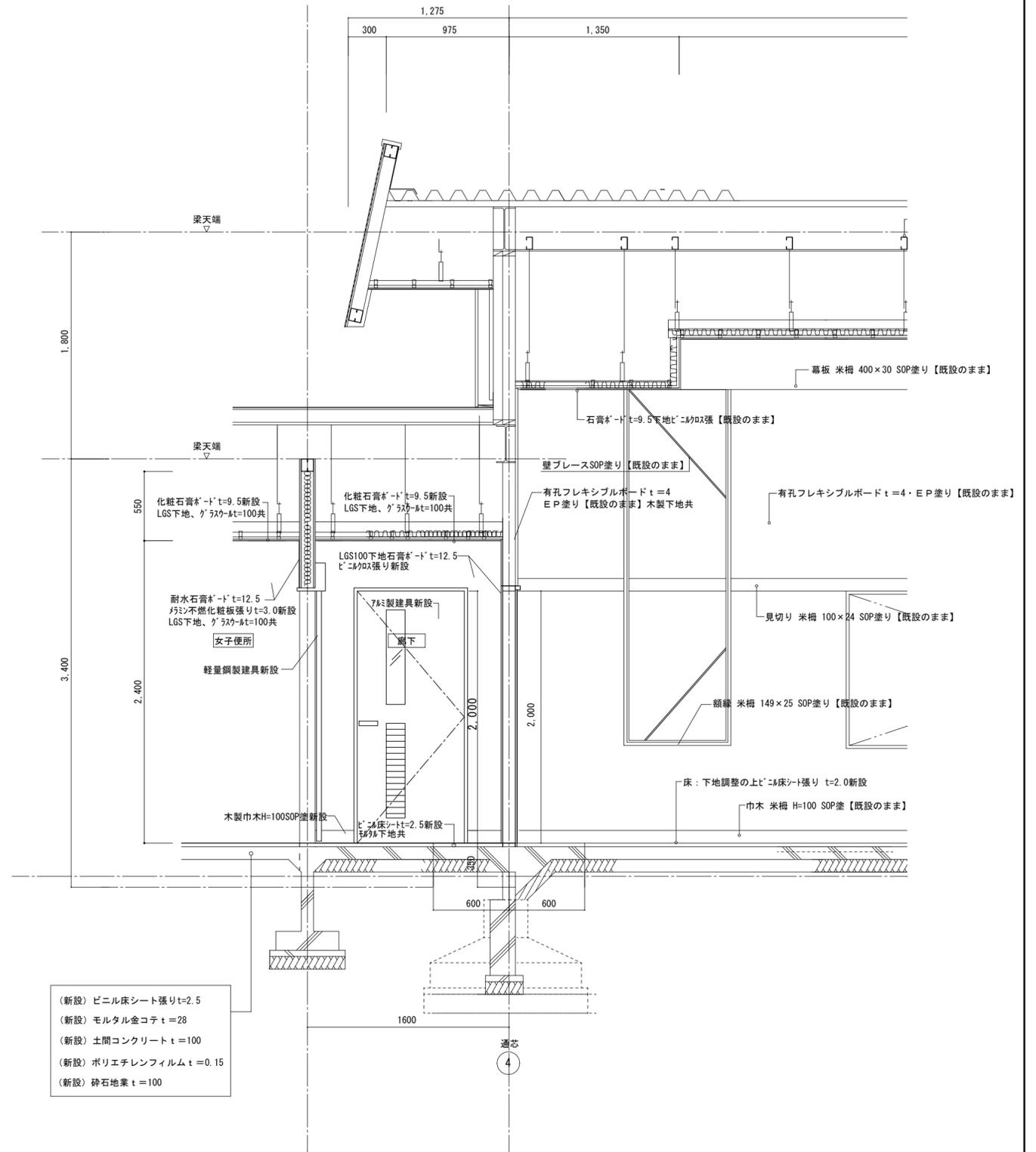
★ : 化学物質の濃度測定箇所 (改修後) を示す。

津市伊勢地多目的集会所便所改修工事		縮尺
図面名称	平面図 (改修後)	1/60
津市建設部営繕課		原因: A2
		No. A-11

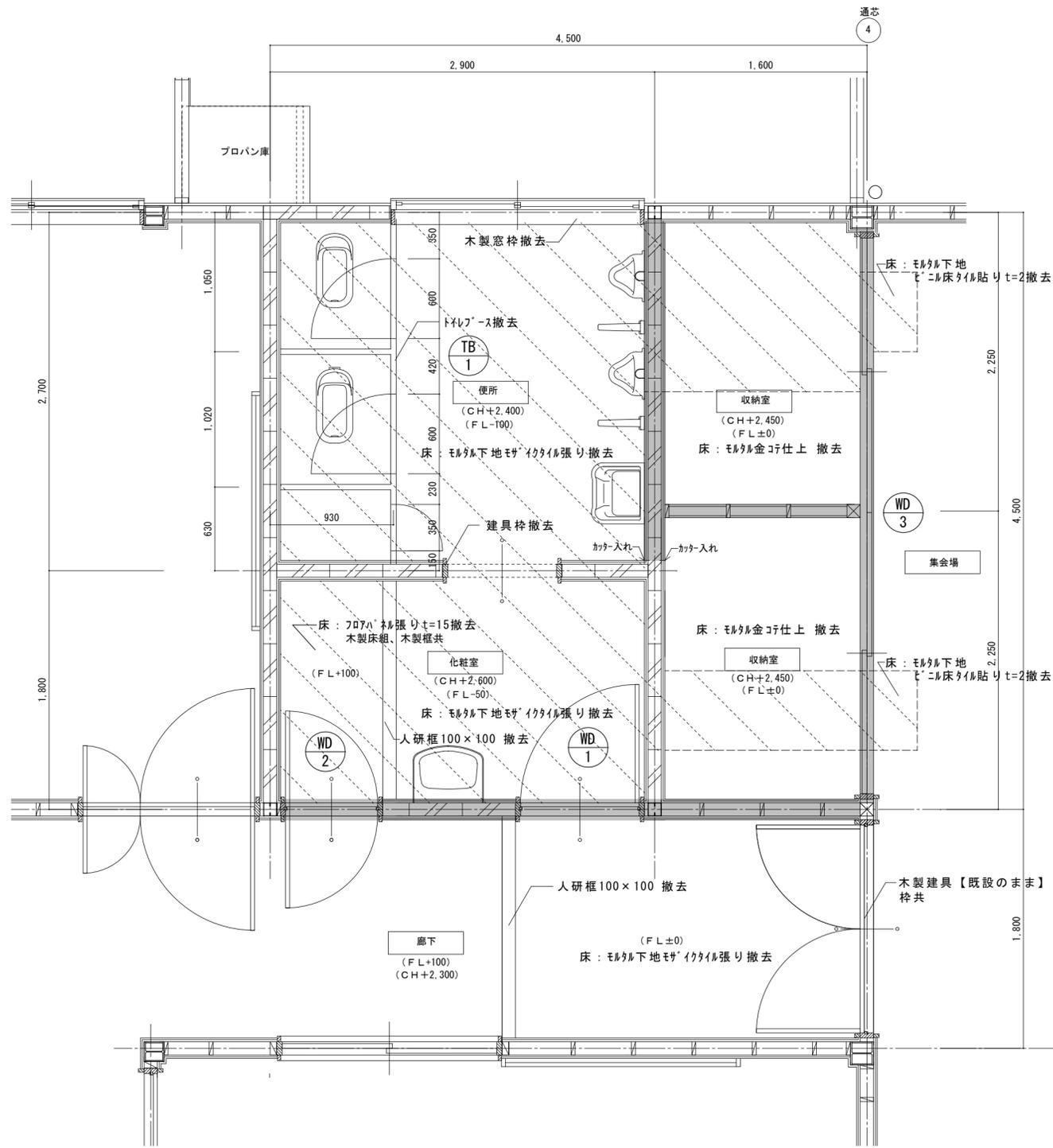
改修前



改修後

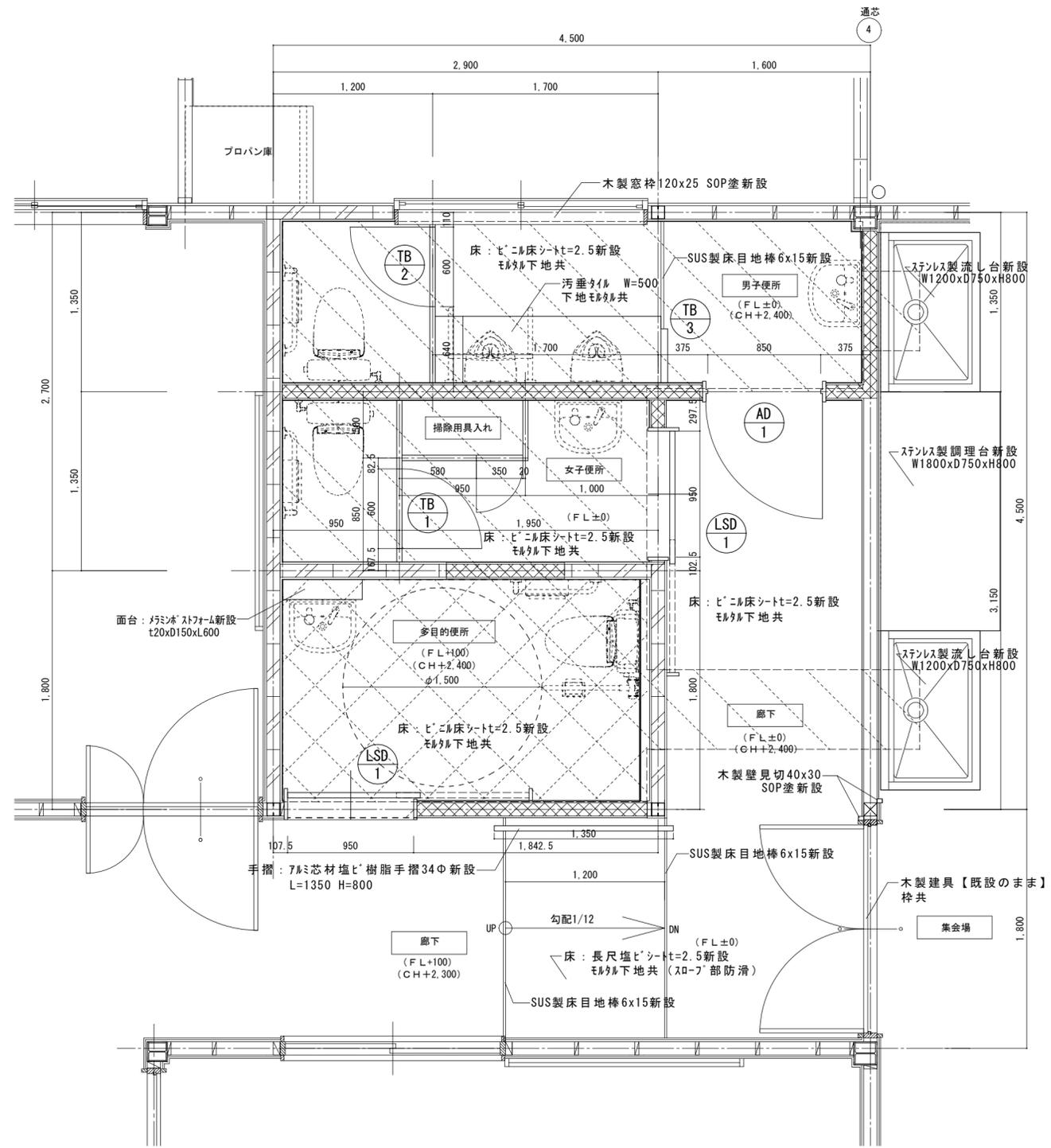
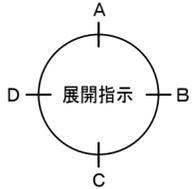


津市伊勢地多目的集会所便所改修工事		縮尺 1/30
図面名称	矩計図 (改修前・改修後)	原図：A2
津市建設部営繕課		No. A-12



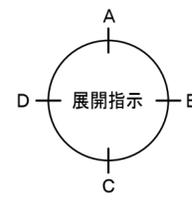
改修前 平面詳細図 S=1/30

- 【凡例】
- : 土間コンクリートt=100(砕石t=100共) 撤去範囲を示す。
カッター入れ共
 - : 既設壁撤去範囲を示す。



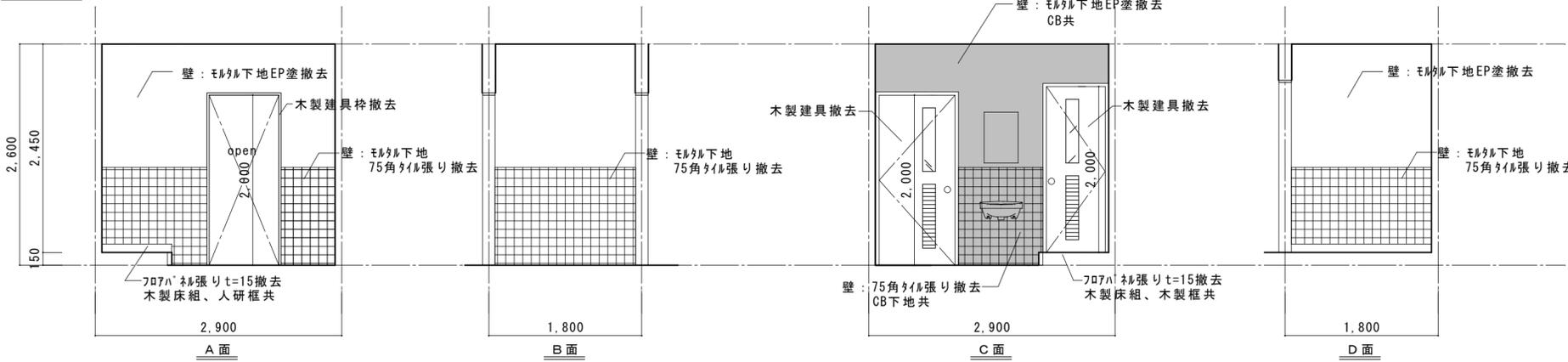
改修後 平面詳細図 S=1/30

- 【凡例】
- : ビニル床シート張りt=2.5 モルタル下地t=28 土間コンクリートt=100
釘ヨコD10-@200 4周あと施工アンカー(金属系)D10-@200 木'リフレンフィルムt=0.15
砕石t=100共 新設の範囲を示す。
 - : ビニル床シート張りt=2.5 モルタル下地t=28 増打ちコンクリートt=100 ワイヤメッシュφ6
土間コンクリートt=100 釘ヨコD10-@200 4周あと施工アンカー(金属系)D10-@200 木'リフレンフィルムt=0.15
砕石t=100共 新設の範囲を示す。
 - : 断熱材充填範囲を示す。
(グラスウール t=100)

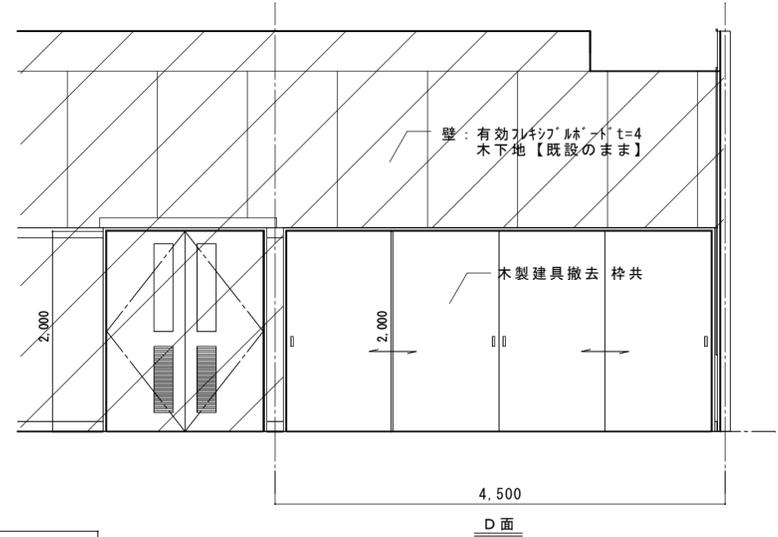


津市伊勢地多目的集会所便所改修工事		縮尺
		1/30
図面名称	平面詳細図(改修前・改修後)	原図: A2
津市建設部営繕課		No. A-13

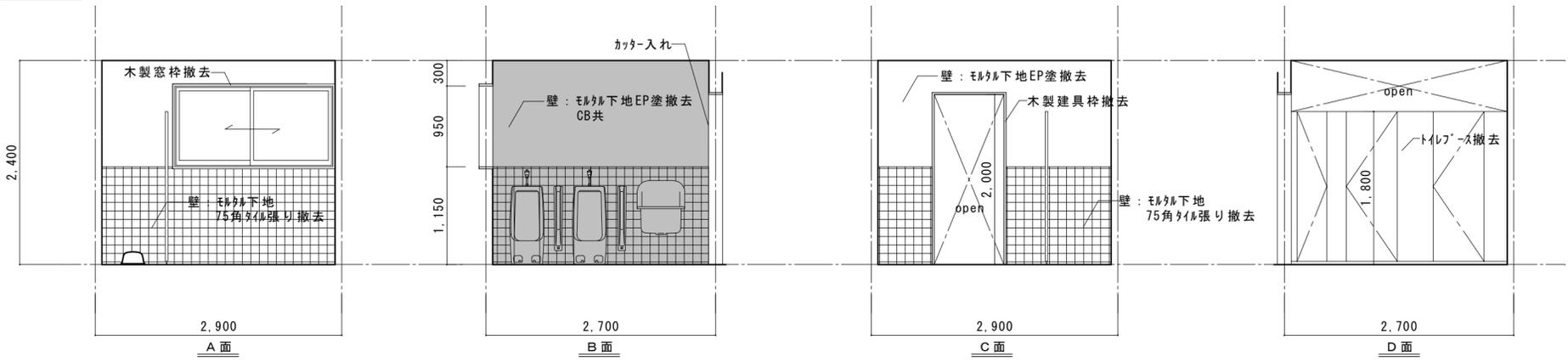
化粧室



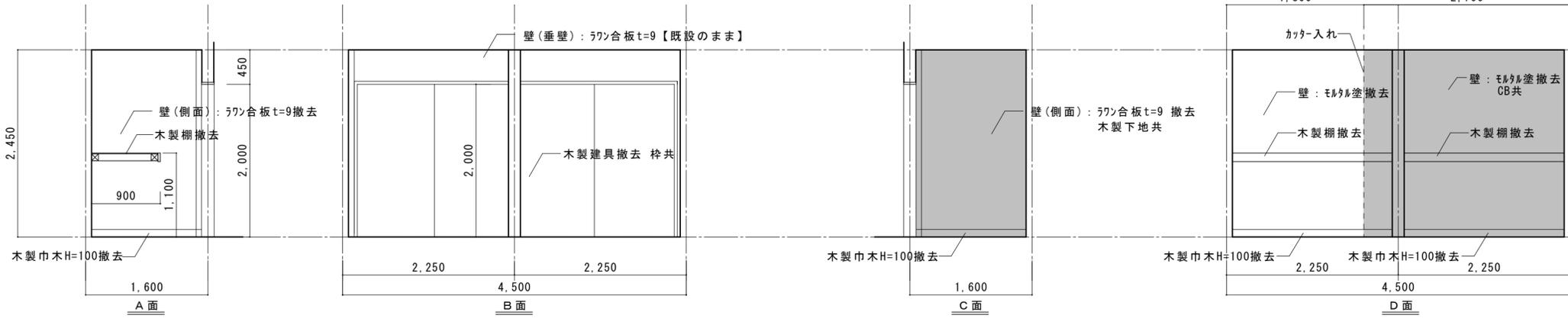
集会場



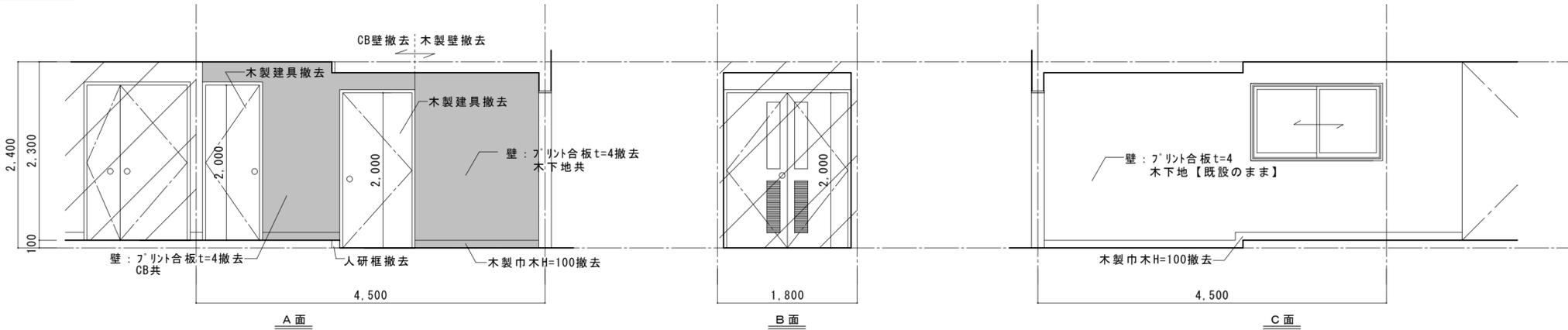
便所



収納室

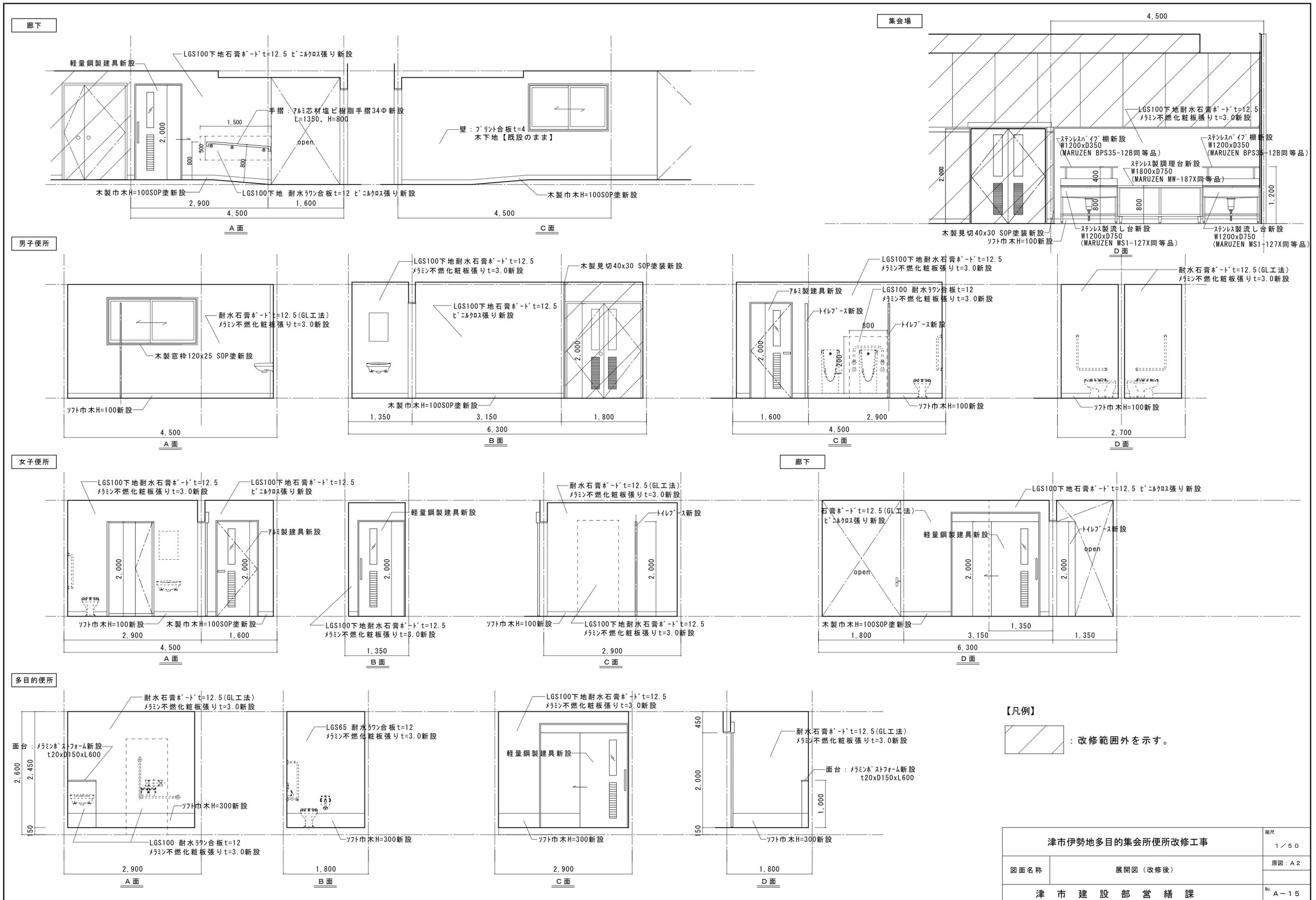


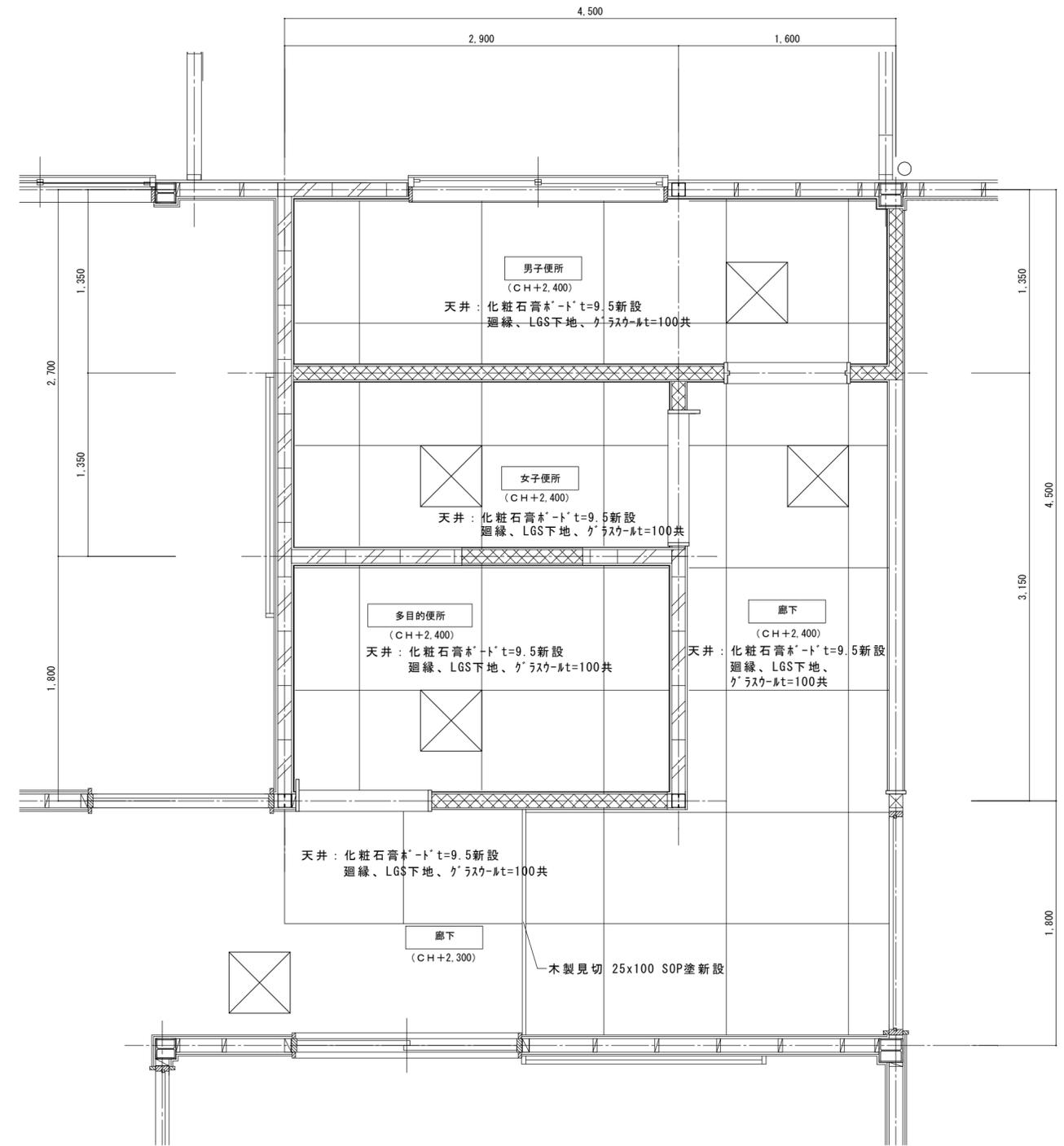
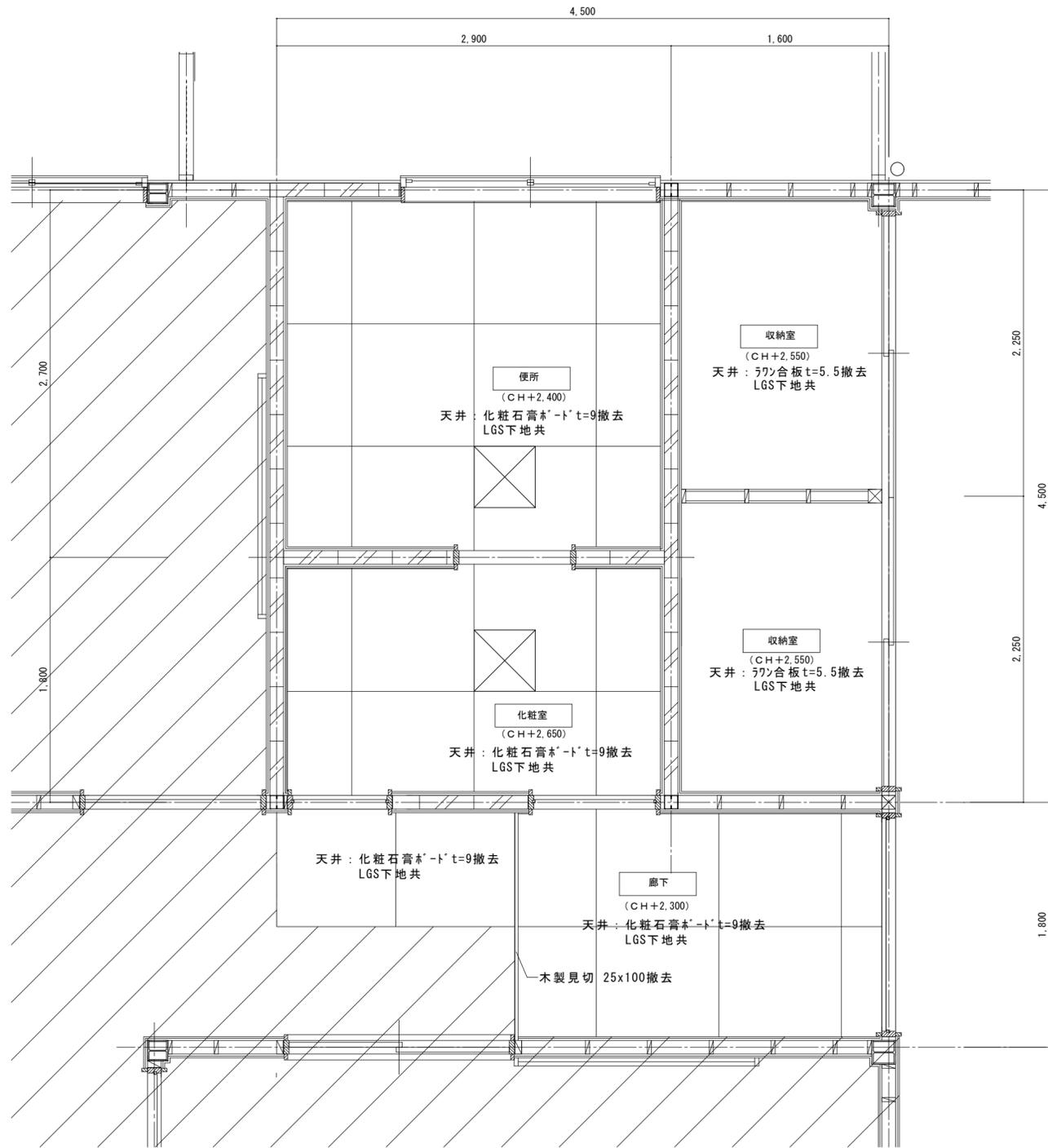
廊下



- 【凡例】
- : 改修範囲外を示す。
 - : 既設壁撤去範囲を示す。

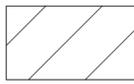
津市伊勢地多目的集会所便所改修工事		縮尺
		1/50
図面名称	展開図(改修前)	原因: A2
津市建設部 営繕課		No. A-14





【凡例】

改修前 天井伏図 S=1/30

 : 改修範囲外を示す。

 : 天井点検口撤去を示す。

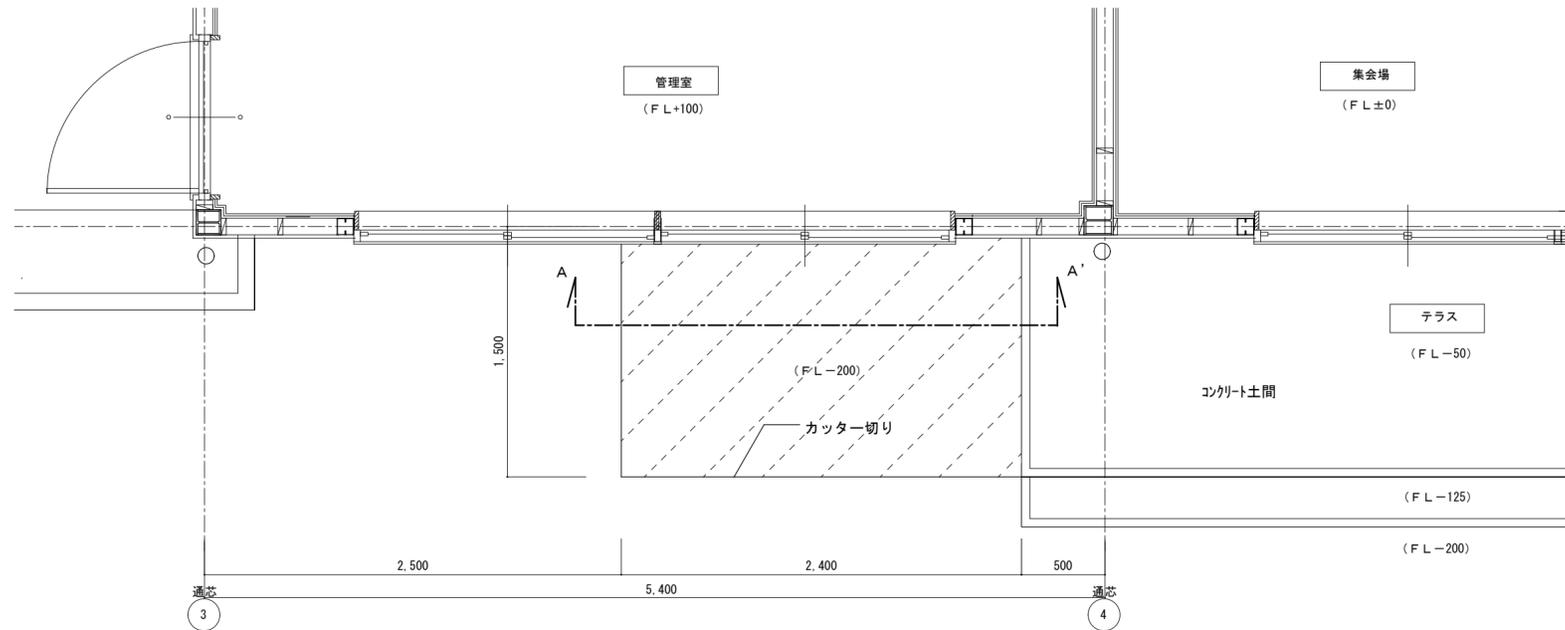
改修後 天井伏図 S=1/30

 : 天井点検口450角新設を示す。

津市伊勢地多目的集会所便所改修工事		縮尺
図面名称 天井伏図 (改修前・改修後)		1/30
津市建設部営繕課		原因: A2
		No. A-16

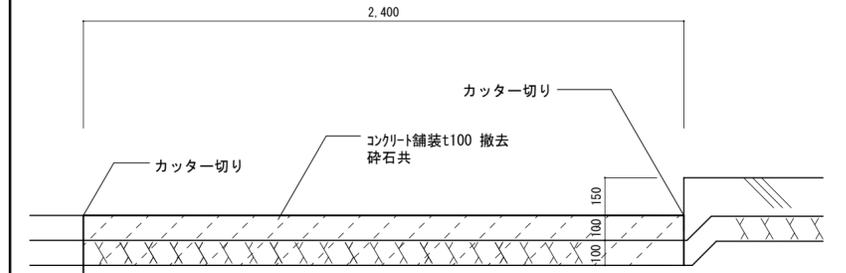
符号・数量	WD-1 化粧室 撤去 1	WD-2 化粧室 撤去 1	WD-3 収納室 撤去 1	TB-1 便所 撤去 1	
姿 図					
種別方式・見込	片開き戸 36	片開き戸 36	4枚引き戸 36	トイレブース	
硝子	透明ガラス t=4.0	透明ガラス t=4.0			
仕上	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	
金物	7&Mカ'リ、シリカ'錠・ステンス握玉・DC・丁香	7&Mカ'リ、シリカ'錠・ステンス握玉・DC・丁香	船底引手・戸車	グレ'ティン'・戸当り	
備考			ステンレスVレール		
符号・数量	LSD-1 多目的便所、女子便所 新設 2	AD-1 男子便所 新設 1	TB-1 女子便所 新設 1	TB-2 男子便所 新設 1	TB-3 男子便所 新設 1
姿 図					
種別方式・見込	軽量鋼製片引き戸 40	アルミ製片開きドア 70	トイレブース 40	トイレブース 40	トイレブース 40
硝子	型板強化ガラス t=4.0	型板強化ガラス t=4.0			
仕上	化粧鋼板0.6	アルミカラー	高圧メラミン化粧板	高圧メラミン化粧板	高圧メラミン化粧板
金物	自閉装置・樹脂製引手L=450・引手錠 (大型サムターン表示付)	シリカ'錠 (内部サムターン)・レ'ハンド'ル・DC・丁香	アルミ頭つなぎ (蓋付)・SUS巾木・グレ'ティン'・戸当り	アルミ頭つなぎ (蓋付)・SUS巾木・グレ'ティン'・戸当り	アルミ頭つなぎ (蓋付)・SUS巾木
備考	ステンレス沓摺・ドアガラリ (焼付塗装) 標準金物一式	アルミ額縁 標準金物一式	表示付ラッチ錠・非常時外開き開放 標準金物一式	表示付ラッチ錠・非常時外開き開放 標準金物一式	標準金物一式

津市伊勢地多目的集会所便所改修工事		縮尺 1/30
図面名称	建具表	原図: A2
津市建設部営繕課		No. A-17

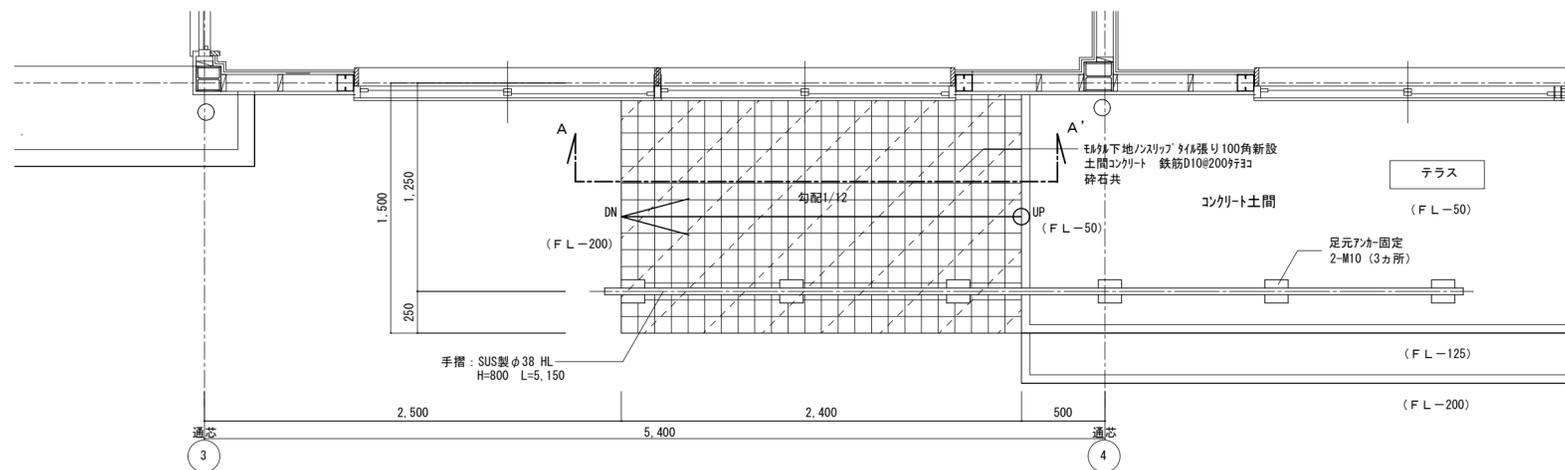


コンクリート舗装t=100 撤去
 砕石、カッター入れ共

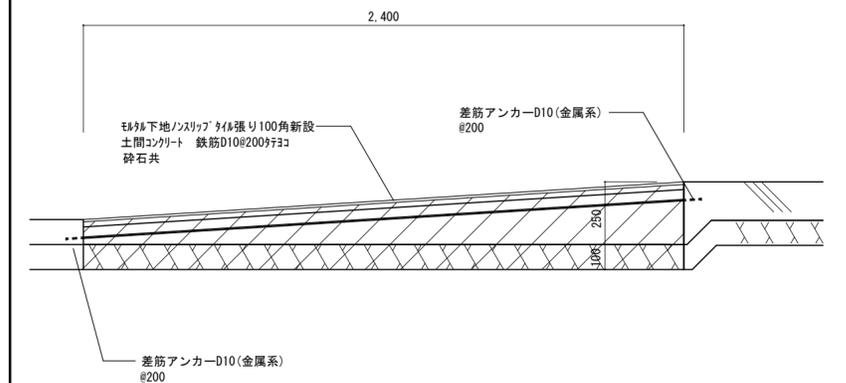
改修前 平面図 S=1/30



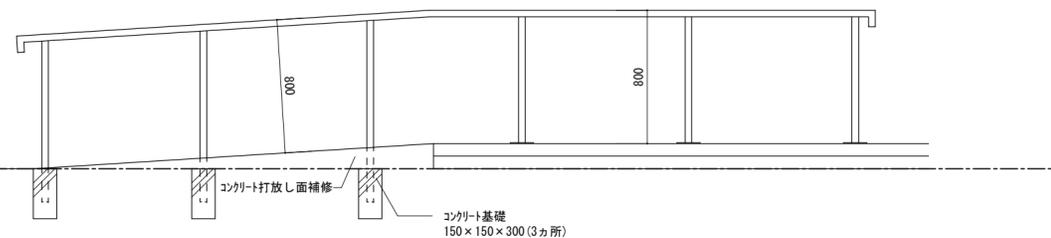
改修前 A~A' 断面詳細図 S=1/20



改修後 平面図 S=1/30

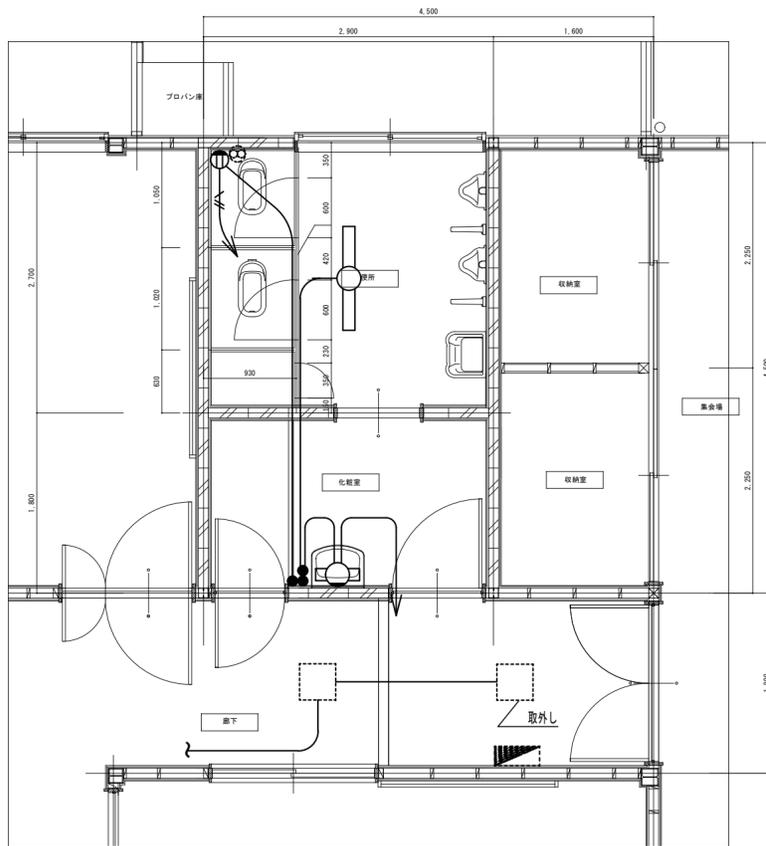


改修後 A~A' 断面詳細図 S=1/20



改修後 立面図 S=1/30

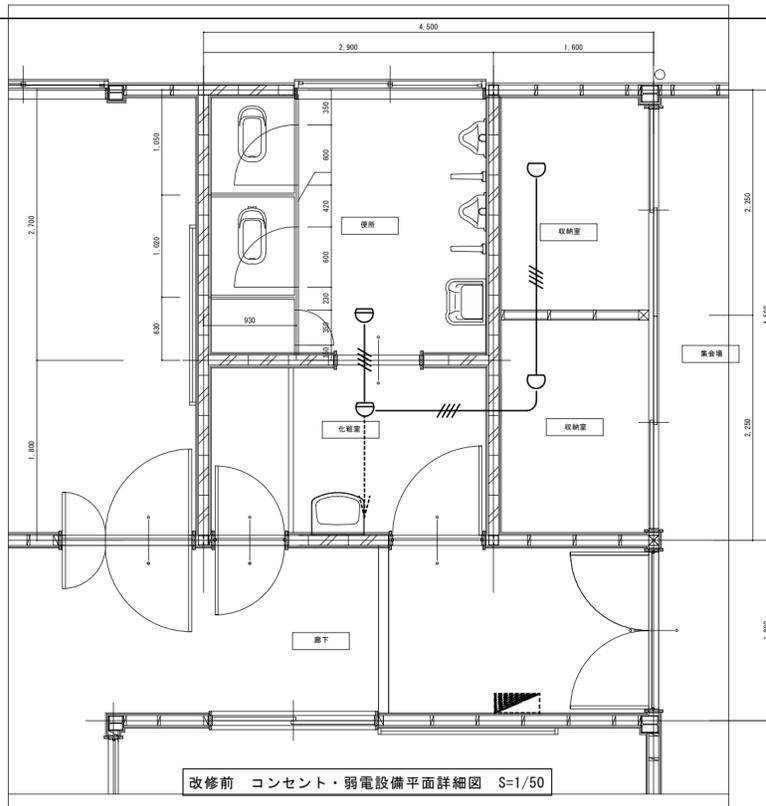
津市伊勢地多目的集会所便所改修工事		縮尺 1/30 1/20
図面名称	スロープ詳細図	原図: A2
津市建設部営繕課		No. A-18



- 【凡例】
- 電灯盤
 - 照明器具 FL20W x 1
 - 照明器具 FL40W x 2
 - シーリングライト
 - タンブラスイッチ 1P15A x 3+L
 - ⊕ コンセント 1P15A
- ※実線は撤去、点線は再利用とする

改修前 電灯設備平面詳細図 S=1/50

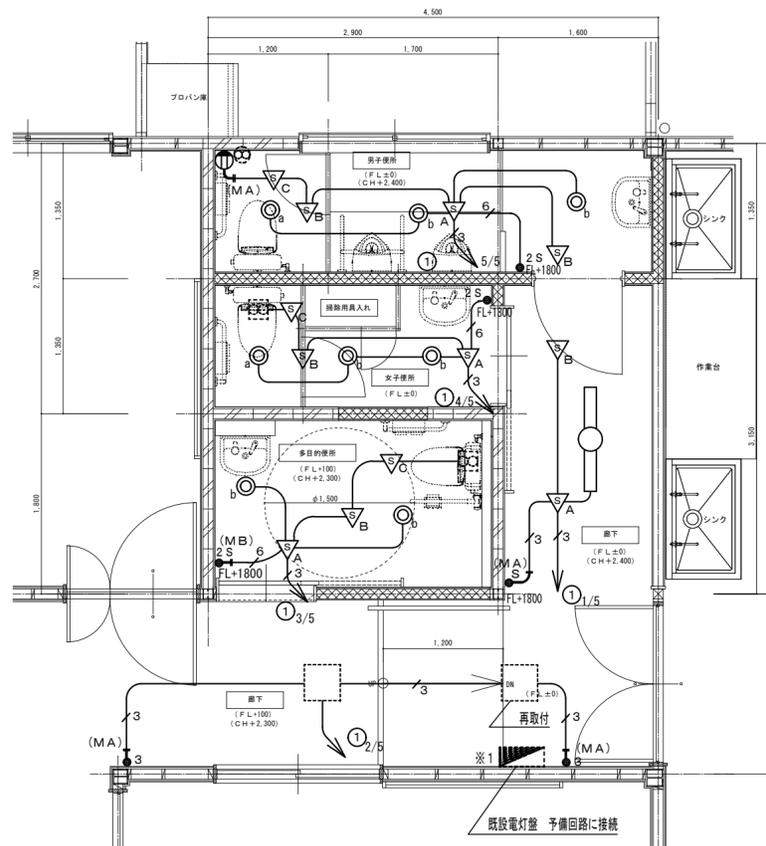
- 特記なき配線は下記による
- VVF1. 6-2C
 - VVF2. 0-3C
- 注記
※ 水銀使用製品は産業廃棄物として関係法令により、適切に処理すること



- 【凡例】
- 電灯盤
 - 差動式スポット型感知器
 - 定温式スポット型感知器
- ※実線は撤去、点線は再利用とする

改修前 コンセント・弱電設備平面詳細図 S=1/50

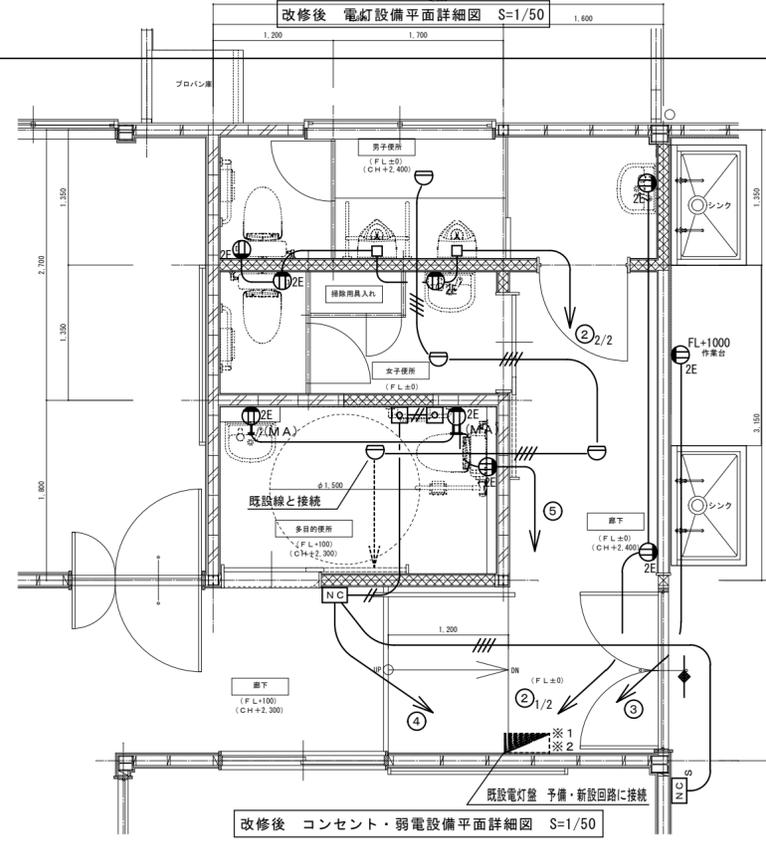
- 特記なき配線は下記による
- AE1. 2-4C



- 【凡例】
- 電灯盤
 - △ 人感センサー 親機 参考型番: WTK24818
 - ▽ 人感センサー 子機 参考型番: WTK29129
 - ▽ 人感センサー 換気扇連動型 参考型番: WTK29318
 - LEDベースライト 公共型番: LSS9-4-30
 - LEDダウンライト 公共型番: LRS1-13
 - LEDダウンライト 公共型番: LRS1-17
 - センサー用切替スイッチ 1連
 - _{2S} センサー用切替スイッチ 2連
 - ₃ 3路スイッチ
 - ⊕ コンセント 1P15A
- ※点線は既設再利用とする

- 特記なき配線は下記による
- VVF1. 6-2C (PF16)
 - VVF1. 6-3C (PF16)
 - VVF1. 6-3C x 2 (PF22)
 - (MA) 壁露出部メタルモール (A型)
 - (MB) 壁露出部メタルモール (B型)

注記
※ 室内配線はP管にて保護すること
※1 既設電灯盤への立下げはメタルモールとする



- 【凡例】
- 電灯盤
 - ⊕_{2E} コンセント 2P15Ax2+E1付
 - 差動式スポット型感知器
 - _{NC} トイレ呼出 親機 参考型番: WQ4302K
 - _{NCs} トイレ呼出 副親機 参考型番: WQ4402K
 - トイレ呼出 参考型番: WQ4501
- ※点線は既設再利用とする

- 特記なき配線は下記による
- VVF2. 0-3C (PF22)
 - AE1. 2-2C (PF16)
 - AE1. 2-4C (PF16)
 - (MA) 壁露出部メタルモール (A型)
 - ハツリ貫通

注記
※ 室内配線はP管にて保護すること
※1 既設電灯盤への立下げはメタルモールとする
※2 既設電灯盤にELGR2P50/20Ax3を新設

津市伊勢地多目的集会所所改修工事

図面名称 電気設備平面詳細図

津市建設部営繕課

縮尺 1/50
原因: A2
No. E-01

凡 例

記号	名称	記号	名称	記号	名称	記号	名称
-----	給水管 (地中・HIVP)	-----	既設配管	⋈	弁類: JIS10kg/cm ²	-----	スパイラルダクト
-----	給水管 (一般・SGP-VB)	⊠	給水栓	⊙	排水金物		
-----	汚水・排水管 (VP)	⊕	床上掃除口	-----	配管接続箇所		
-----	通気管 (VP)						

※保温仕様 (屋内隠ぺい部) : グラスウール保温筒+アルミガラスクロス

換気機器表

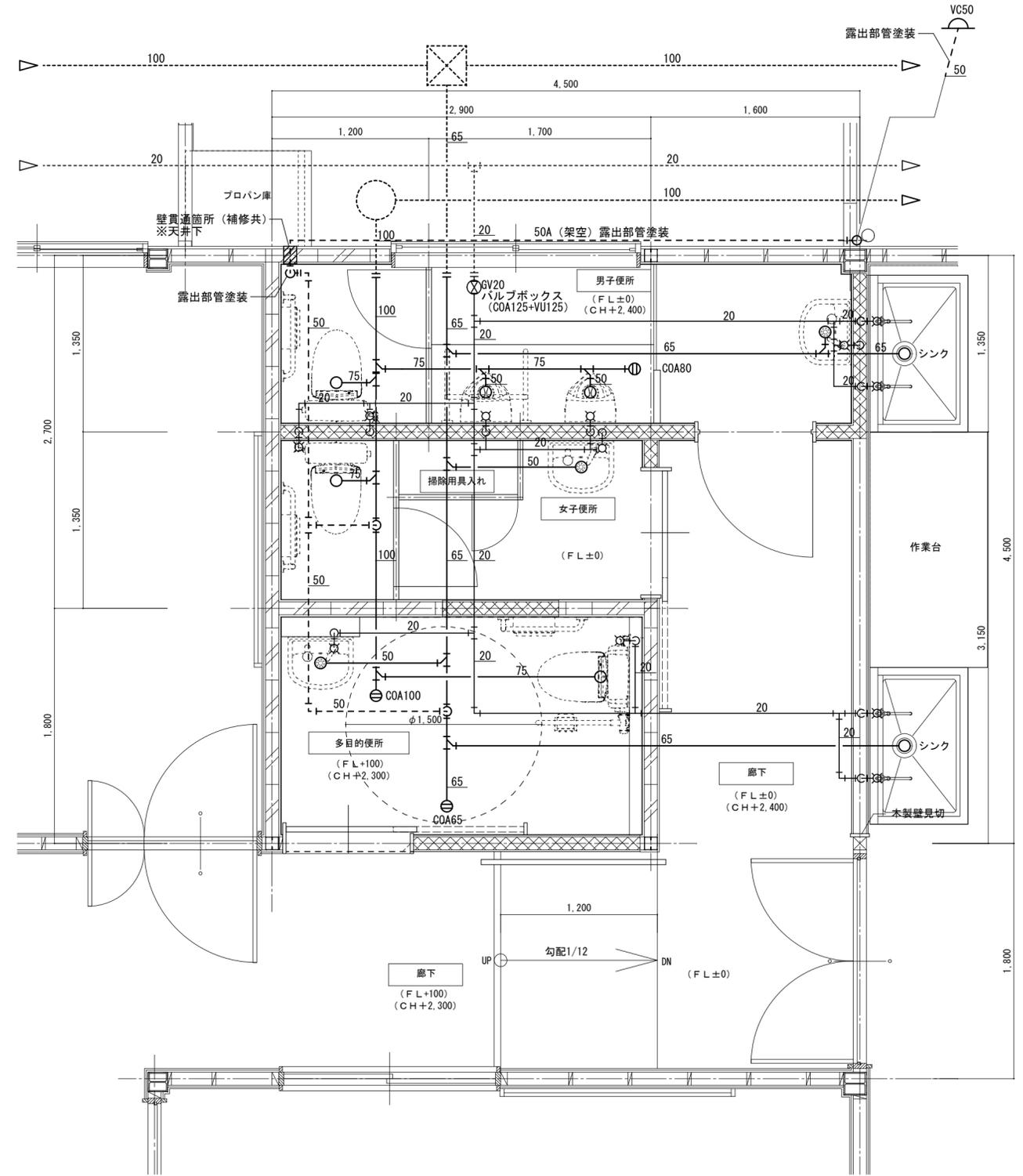
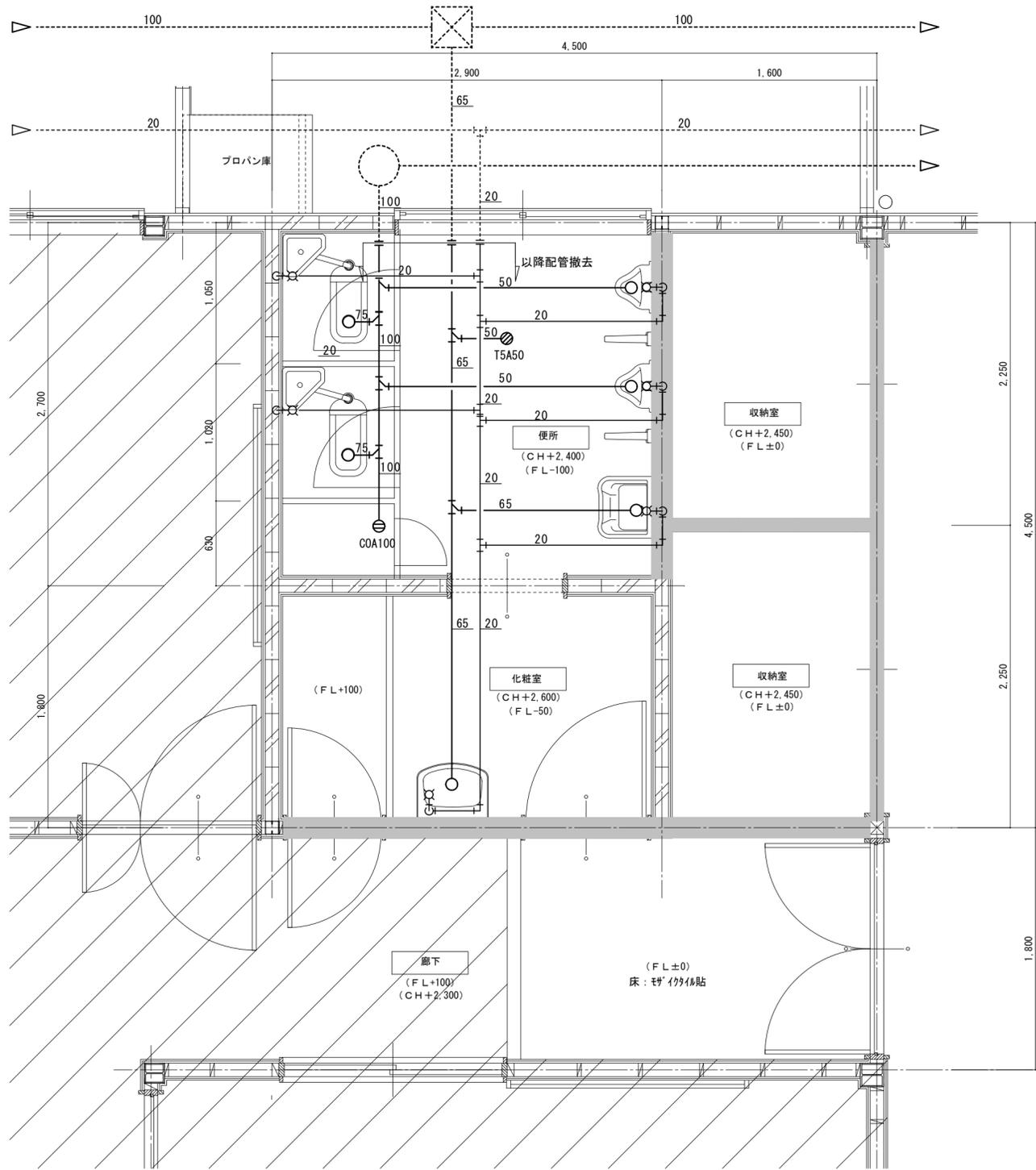
記号	品名	風量 (m ³ /h)	ダクト径	静圧 (Pa)	電源 (W)	付属品	設置場所	台数
FE-1	壁掛換気扇	480	φ200	-	1φ100V12.5W	SUS製ウエザーカー, 取付枠	男子便所 参考品番: EX-20LK7-C	1
VF-1	天井換気扇: 低騒音形 本体: 金属	150	100	70	1φ100V23.0W	SUS製深形パイプフード (ガラリ付), 天吊金具	多目的便所、女子便所 参考品番: VD-15ZP10	2

※動力は参考数値とする。

衛生器具表

名称	参考品番 (TOTO)	参考品番 (LIXIL)	合計	多目的便所	男子便所	女子便所	集会所
洋風便器	CFS497B, TCF586AUS (温水洗浄便座), YH702	BC-P110SA, DQ-PA150CH, CW-PB11FLQ-NE (温水洗浄便座), ホースセット, CF-63HST	2		1	1	
自動洗浄小便器	UFS910JS	U-A31AP	2		2		
L形手すり	T112CL10, 付属固定金具共	KF-920AE70D12, 付属固定金具共	3	1	1	1	
多目的便器	CFS497B, TCF5840AUPR (温水洗浄便座), YH702	BC-P110SA, DQ-PA150CH, CF-21ALP-CK (温水洗浄便座), ホースセット, CF-63HST	1	1			
はねあげ手すり	T112HK7R, 付属固定金具共	KF-471EH70, 付属固定金具共	1	1			
背もたれ	EWC283CR, 付属固定金具共	KFC-275T1U, 付属固定金具共	1	1			
小便器用手すり	T112CU22, 付属固定金具共	KF-701AEJ, 付属固定金具共	1		1		
洗面器	L210CM, TEN41A, TS126AR, TL250D, T7PW1	L-132G, AM-200T, LF-4PA, LF-6L, SF-10E, KF-24F	3	1	1	1	
化粧鏡	YM3580AC	KF-D3694AS	3	1	1	1	
横水栓	T130AUN13C	LF-12F-13	4				4

津市伊勢地多目的集会所便所改修工事		縮尺 1/30
図面名称	凡例・換気機器表・衛生器具表	原因: A2
津市建設部営繕課		No. M-01

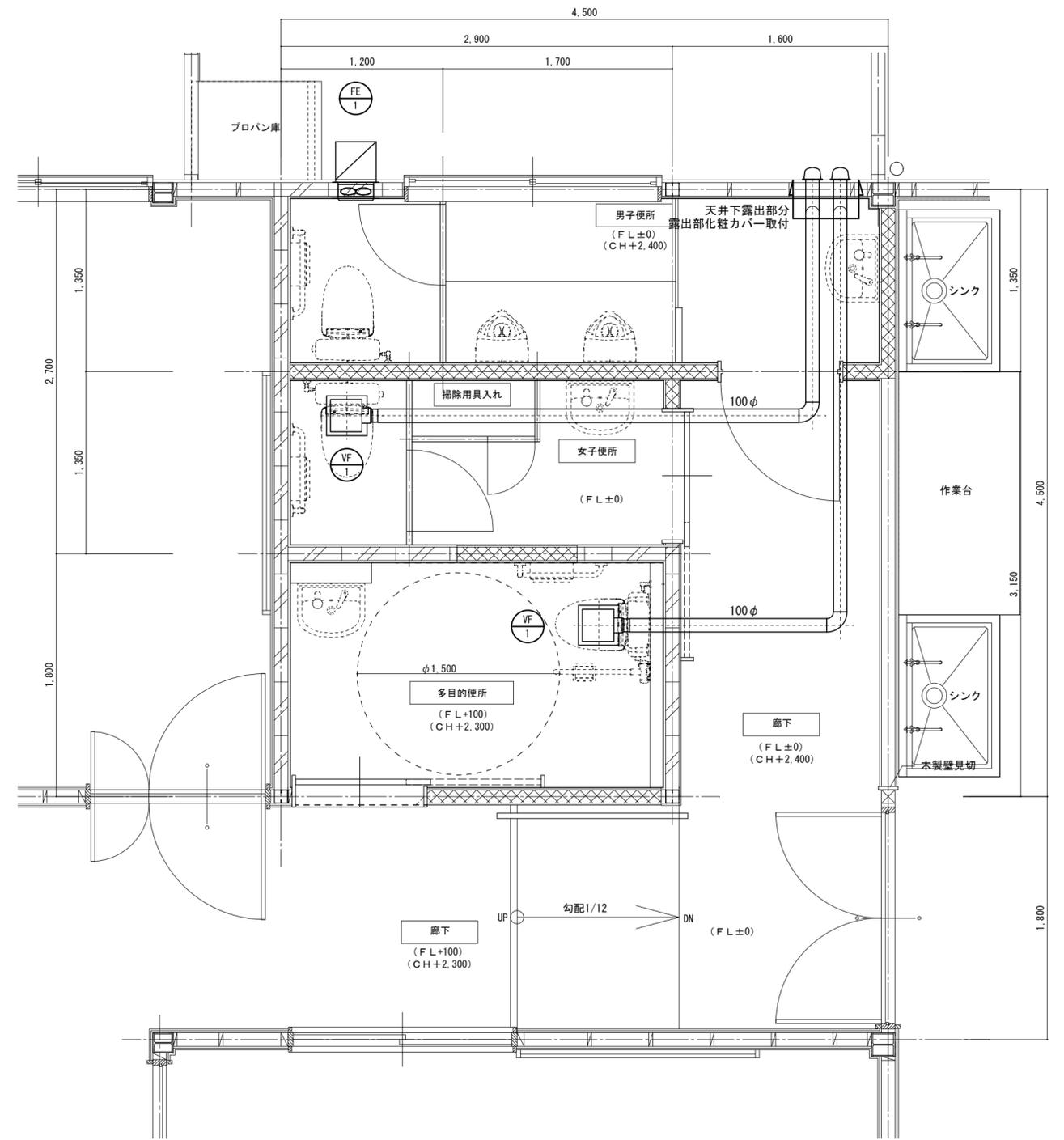
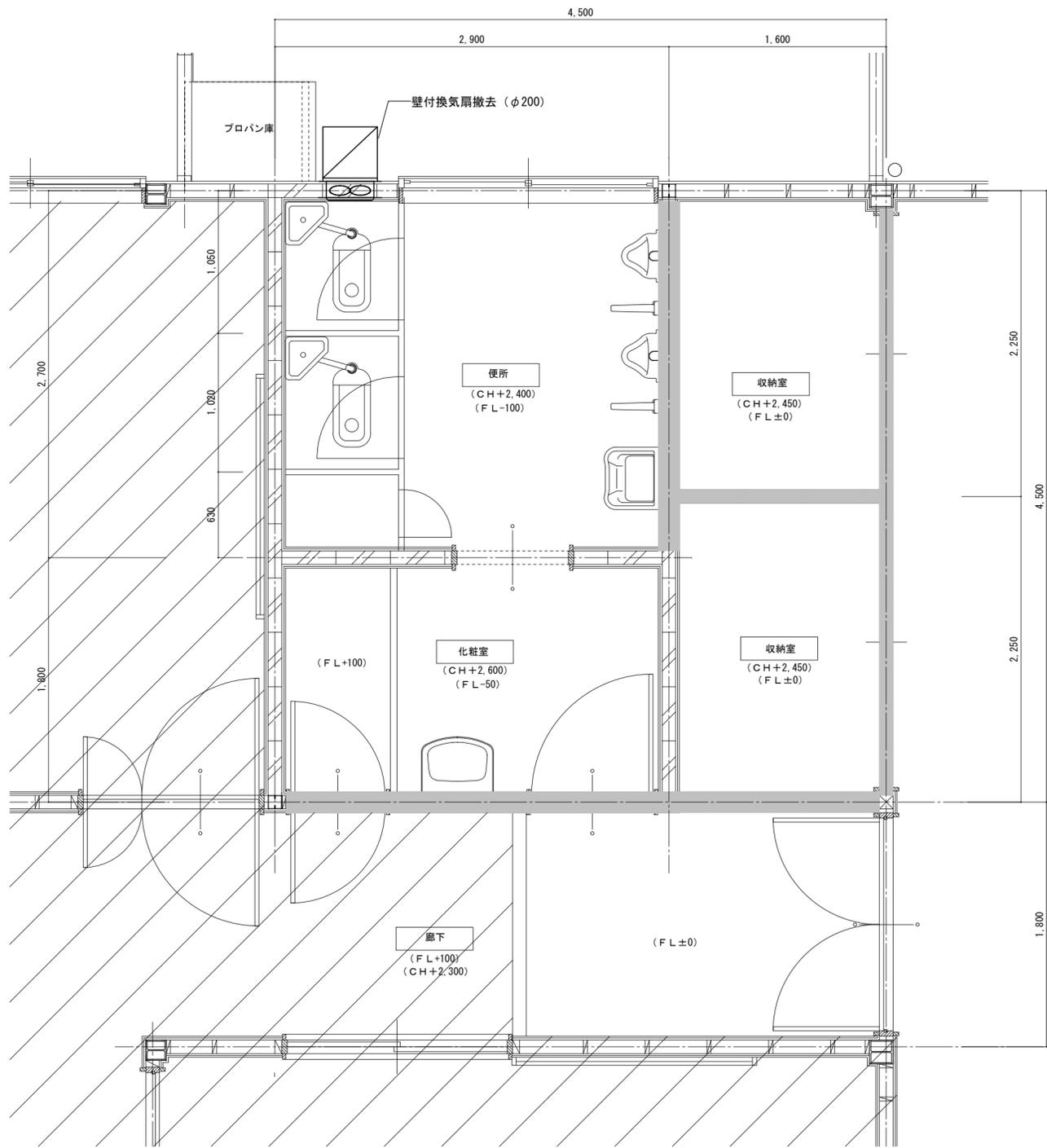


撤去 衛生器具表		
名称	仕様	数量
和便器	ロータンク式	2
小便器	床置形 手動FV	2
仕切板		2
手洗器	単水栓	1
掃除流し		1
化粧鏡	350×450H	1

改修前 平面詳細図 S=1/30

改修後 平面詳細図 S=1/30

津市伊勢地多目的集会所便所改修工事		縮尺 1/30
図面名称	給排水設備図	原因: A2
津市建設部 営繕課		No. M-02



撤去 衛生器具表		
名称	仕様	数量
和便器	ロータンク式	2
小便器	床置形 手動FV	2
仕切板		2
手洗器	単水栓	1
掃除流し		1
化粧鏡	350×450H	1

改修前 平面詳細図 S=1/30

改修後 平面詳細図 S=1/30

津市伊勢地多目的集会所便所改修工事		縮尺 1/30
図面名称	換気設備図	原図: A2
津市建設部営繕課		No. M-03